

平成 2 5 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 〔Ⅰ〕概 要..... | 1 |
| 〔Ⅱ〕組 織 | |
| 1. 機 構..... | 3 |
| 2. 理事・監事・評議員・最高顧問..... | 4 |
| 3. 会議記録..... | 5 |
| 4. 委員会..... | 6 |
| 1) 委員会の所管事項..... | 6 |
| 2) 委員会委員..... | 6 |
| 3) 委員会・部会 会議実績..... | 8 |
| 5. 自動車教育推進協議会..... | 9 |
| 〔Ⅲ〕事業活動 | |
| 1. 自動車技術支援事業..... | 11 |
| 1) 機材提供活動..... | 11 |
| 2) 教員支援活動..... | 13 |
| 3) 協賛支援活動..... | 14 |
| 4) 交流促進活動..... | 14 |
| 2. 調査研究事業..... | 16 |
| 1) 調査活動..... | 16 |
| 2) 教材作成活動..... | 19 |
| 3. 研修事業..... | 20 |
| 1) 財団研修活動..... | 20 |
| 2) 講師派遣活動..... | 21 |
| 4. 普及啓発事業..... | 22 |
| 1) 普及啓発活動..... | 22 |
| 2) 広域普及啓発活動..... | 23 |

〔IV〕 支援活動

- 1. 自動車技術関連イベントへの支援…………… 27
- 2. 研究会及び研究大会への支援…………… 27

〔V〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動…………… 28
- 2. 委員会・部会の効率的な運営…………… 28
- 3. 財務・経理の状況…………… 28

〔VI〕 庶務事項

- 1. 事務局体制…………… 29
- 2. 賛助会費・寄附金の状況…………… 29

※ 添付資料

- 【資料1】平成25年度講師派遣実績…………… 30
- 【資料2】平成25年度教材贈呈式開催状況…………… 37

〔I〕平成25年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、平成25年度も事業活動に取り組んだ。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に提供教材メニューの充実を図った。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上を目的とした支援活動にも取り組み、指導員の派遣や指導教材の提供を適宜実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、引き続き「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を重ね、調査報告書や広報誌の特集記事に反映させ教育関係者へ展開した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会の開催や、関係団体からの専門講師の学校派遣を増やすなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

1. 技術教育支援事業

技術教育支援事業では、東北・関東の一部、及び甲信越、四国、九州の18県270校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行った。応募した86校を対象に、審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、86校に教材の提供を行った。これで、平成3年からの提供校累計は1,441校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、提供教材の取扱指導（20件）、DVD教材の提供（12件）、及び技術系の講師派遣（25件）を実施した。

更に、自動車教育推進協議会と連携し、対象18県全てにおいて教材贈呈式と教育懇談会を開催し、高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

2. 調査研究事業

調査研究事業では海外調査を2回、国内調査を3回実施した。海外においては、クルマや交通への関心度向上策や、環境に配慮したクルマの新しい利用形態を探るべく、欧州の先進事例を調査した。また、国内においては地方都市における公共交通の在り方や、カーシェアリングの増加に見られる若者のクルマ利用の現状に関して調査を行ったり、Webやグループインタビューにより高校生のクルマに対する関心度の調査を実施するなど、今後の財団事業の参考にすべく多面的な調査研究を行った。

この調査結果は、財団の事業報告紙である『JAEF REPORT』で報告するとともに、広報誌『Traffi-Cation（トラフィケーション）』の特集記事や海外交通事情として記事化し、広く高等学校への展開を行なった。

3. 研修事業

研修事業では、JAEF研修会（財団主催の研修会）を東京、静岡、愛知、滋賀の4都県で合計4回開催した結果、216名の高校教諭（オブザーバー参加者を一部含む）が受講し、参加者から大変高い評価を得た。

また、講師派遣活動（地域主催研修会への支援）においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った結果、大変多くの申し込みがあり、講師派遣件数は前年度を上回る203件に達した。また受講した教職員と生徒の合計は77,058名となり、講師派遣の件数、受講者数共に過去最多となった。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、全国の高等学校（約5,900校）を対象とした広報誌『Traffic-Cation』を3回発行し、高等学校における自動車教育に対する理解促進と財団活動に対する認知向上に努めた。また同誌の高校教諭に対する個別提供の拡大を進め、同誌のさらなる普及拡大に努めた。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図り、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。特に、財団ホームページやパンフレット類については、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

5. 組織運営について

平成25年度の財団事業は、第3回理事会（平成25年3月14日開催）にて承認された平成25年事業計画及び平成25年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

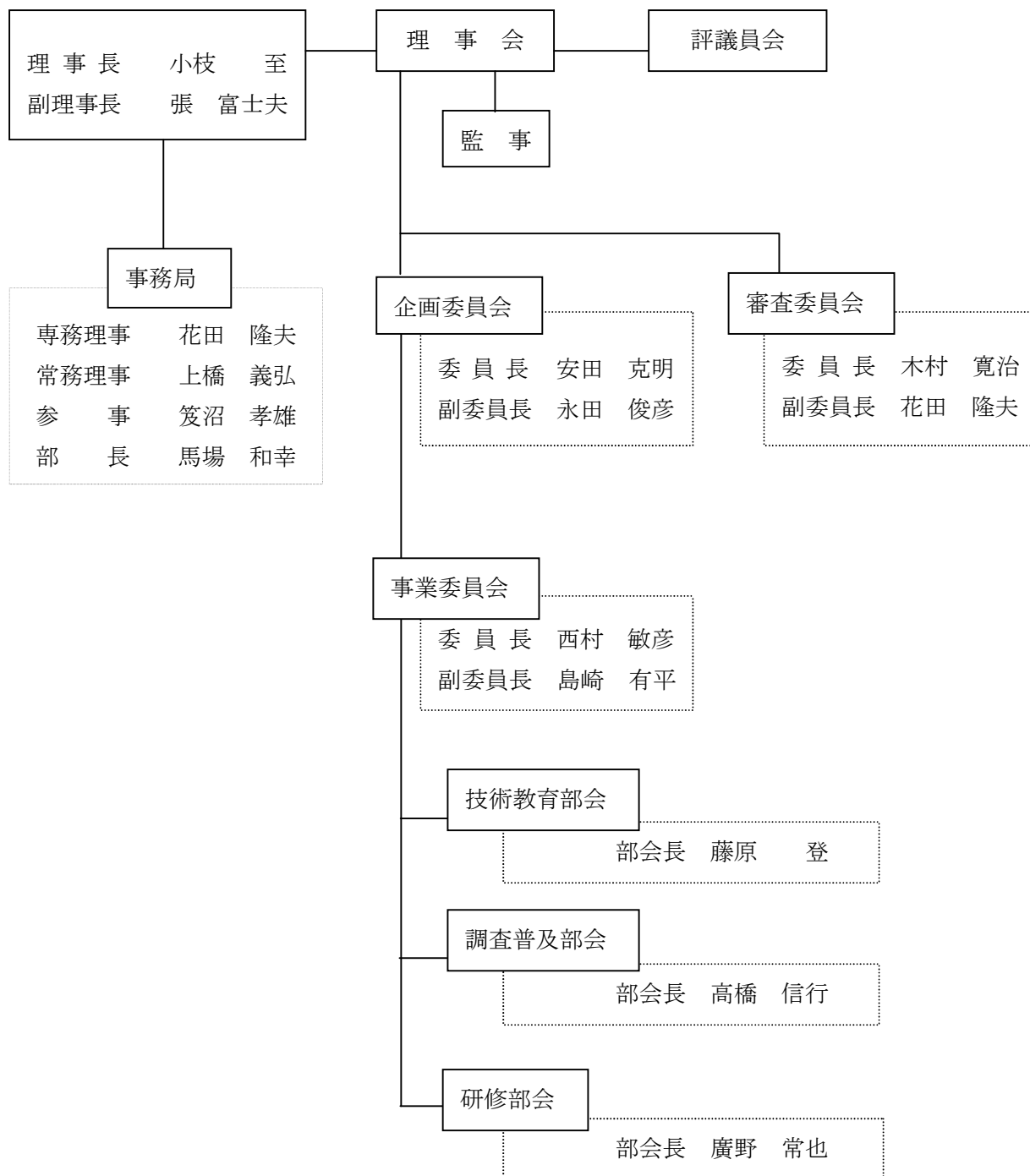
収支に関しては、基本財産の効果的運用により収入が予算を若干上回る（関係団体からの賛助会費・寄附金収入は予算通り）一方で、支出面では、原価低減を図りながら適正な費用管理に努めほぼ予算通りとなったため、最終的な収支は予算より僅かながら改善された結果となった。

〔Ⅱ〕 組織

1. 機構

平成 26 年 3 月 31 日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

平成 26 年 3 月 31 日現在

(敬称略)

1) 役員<理事 (12 名)・監事 (3 名)>

| | | | |
|------|---------|---------------------------------|------------|
| 理事長 | 小 枝 至 | [日 産 自 動 車(株)] | 相談役名誉会長] |
| 副理事長 | 張 富士夫 | [ト ヨ タ 自 動 車(株)] | 名 誉 会 長] |
| 理 事 | 名 尾 良 泰 | [(-社)日 本 自 動 車 工 業 会] | 副会長・専務理事] |
| 理 事 | 川 嶋 温 | [(-社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会] | 副会長・専務理事] |
| 理 事 | 下 平 隆 | [(-社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会] | 専 務 理 事] |
| 理 事 | 久 米 正 一 | [(-社)日 本 自 動 車 連 盟] | 専 務 理 事] |
| 理 事 | 戸 澤 秀 実 | [(-社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会] | 専 務 理 事] |
| 理 事 | 浅 野 広 視 | [(-社)日 本 損 害 保 険 協 会] | 専 務 理 事] |
| 理 事 | 及 川 良 一 | [全 国 高 等 学 校 長 協 会] | 会 長] |
| 理 事 | 長 田 利 彦 | [(-公)全 国 工 業 高 等 学 校 長 協 会] | 顧 問] |
| 専務理事 | 花 田 隆 夫 | [(-財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団] | 事 務 局 常 勤] |
| 常務理事 | 上 橋 義 弘 | [(-公)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団] | 事 務 局 常 勤] |
| 監 事 | 大 上 工 | [(-社)日 本 自 動 車 工 業 会] | 理事・事務局長] |
| 監 事 | 深 田 一 政 | [(-社)日 本 損 害 保 険 協 会] | 常 務 理 事] |
| 監 事 | 軽 部 博 | [日 産 自 動 車(株)] | 執 行 役 員] |

2) 評議員 (22 名)

| | | | |
|-------|---------|-----------------------------------|--------------------|
| 評 議 員 | 松野下 健 | [全 国 総 合 学 科 高 等 学 校 長 協 会] | 理 事 長] |
| 評 議 員 | 加 藤 秀 次 | [全 国 自 動 車 教 育 研 究 会] | 会 長] |
| 評 議 員 | 小 林 洋 司 | [全 国 公 民 科 ・ 社 会 科 教 育 研 究 会] | 会 長] |
| 評 議 員 | 木 村 寛 治 | [日 本 工 業 大 学] | 名 誉 教 授] |
| 評 議 員 | 中 谷 良 平 | [(-社)日 本 自 動 車 機 械 工 具 協 会] | 会 長] |
| 評 議 員 | 武 藤 孝 弘 | [(-財)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 半 田 茂 | [(-財)日 本 自 動 車 研 究 所] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 新 地 秀 一 | [(-社)日 本 自 動 車 会 議 所] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 井 坂 智 夫 | [(-財)日 本 自 動 車 査 定 協 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 舟 橋 和 幸 | [(-社)自 動 車 公 正 取 引 協 議 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 小 林 健 二 | [日 本 自 動 車 輸 入 組 合] | 常 務 理 事] |
| 評 議 員 | 佐 藤 昌 之 | [(-公)自 動 車 製 造 物 責 任 相 談 セ ン タ ー] | 常 務 理 事] |
| 評 議 員 | 吉 田 量 年 | [(-社)日 本 自 動 車 車 体 工 業 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 西 脇 尚 澄 | [(-財)自 動 車 検 査 登 録 情 報 協 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 石 附 弘 | [(-公)国 際 交 通 安 全 学 会] | 専 務 理 事] |
| 評 議 員 | 江 頭 敏 明 | [三 井 住 友 海 上 火 災 保 険 (株)] | 取 締 役 会 長] |
| 評 議 員 | 櫻 田 謙 悟 | [(-株)損 害 保 険 ジ ャ パ ン] | 取 締 役 社 長] |
| 評 議 員 | 隅 修 三 | [東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)] | 取 締 役 会 長] |
| 評 議 員 | 山 本 芳 春 | [本 田 技 研 工 業 (株)] | 取 締 役 専 務 執 行 役 員] |
| 評 議 員 | 山 内 孝 | [マ ツ ダ (株)] | 取 締 役 会 長] |
| 評 議 員 | 益 子 修 | [三 菱 自 動 車 工 業 (株)] | 取 締 役 社 長] |
| 評 議 員 | 児 玉 正 之 | [あ い お い ニ ッ セ イ 同 和 損 害 保 険 (株)] | 特 別 顧 問] |

最高顧問 豊 田 章一郎

最高顧問 豊 田 達 郎

3. 会議記録

1) 第4回 理事会

- (1) 日 時 平成 25 年 5 月 29 日 (水) 16:00~17:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アイリス
- (3) 議 案 ①平成 24 年度事業報告及び決算報告について
②第 2 回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ①平成 25 年度事業進捗状況の報告

2) 第2回 定時評議員会

- (1) 日 時 平成 25 年 6 月 13 日 (木) 16:00~16:40
- (2) 場 所 経団連会館 506 号室
- (3) 議 案 ①議長選出
②議事録署名人選出
③平成 24 年度事業報告および決算報告について
④評議員の一部選任について
⑤理事及び監事の選任について

3) 第5回 理事会

- (1) 日 時 平成 25 年 6 月 13 日 (木) 17:00~17:20
- (2) 場 所 経団連会館 505 号室
- (3) 議 案 ①代表理事・業務執行理事等の選定について

4) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任候補者選任の件
②監事辞任につき後任候補者選任の件
③臨時評議員会開催の件
- (2) 提案日 平成 25 年 7 月 10 日 (水)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 25 年 7 月 24 日 (水)

5) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任者選任の件
②監事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 平成 25 年 7 月 25 日 (木)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 25 年 8 月 8 日 (木)

6) 第6回 理事会

- (1) 日 時 平成 26 年 3 月 13 日 (木) 16:00~17:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アゼリア
- (3) 報 告 ①平成 25 年度事業進捗状況の報告
- (4) 議 案 ①平成 26 年度事業計画および収支予算について
②今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及事業に関する事項

2) 委員会委員

平成26年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

| | | | |
|------|-------|---------------------|-------------------|
| 委員長 | 安田 克明 | [日産自動車(株)] | 渉外部 部長] |
| 副委員長 | 永田 俊彦 | [トヨタ自動車(株)] | 渉外部 第1 渉外室長 担当部長] |
| 委員 | 大川畑文昭 | [あいおいニッセイ同和損害保険(株)] | 理事兼商品企画部長] |
| 委員 | 君島 正宏 | [(株)損害保険ジャパン] | 自動車産業企画部 部長] |
| 委員 | 福田 安展 | [東京海上日動火災保険(株)] | 理事兼自動車営業開発部長] |
| 委員 | 松島 豊和 | [マツダ(株)] | 渉外調査部 主幹] |
| 委員 | 三ヶ尻 裕 | [本田技研工業(株)] | 渉外部 部長] |
| 委員 | 矢吹 卓美 | [三菱自動車工業(株)] | 管理本部上級エキスパート] |
| 委員 | 渡瀬 賢 | [三井住友海上火災保険(株)] | 自動車保険部長] |

(2) 審査委員会 (7名)

| | | | |
|------|-------|-------------------|-----------|
| 委員長 | 木村 寛治 | [日本工業大学] | 名誉教授] |
| 副委員長 | 花田 隆夫 | [(公財)日本自動車教育振興財団] | 専務理事] |
| 委員 | 猪口 明 | [全国自動車教育研究会] | 名誉顧問] |
| 委員 | 加藤 秀次 | [東京都立墨田工業高等学校] | 校長] |
| 委員 | 木暮 守雄 | [(公社)全国工業高等学校長協会] | 事務局長] |
| 委員 | 西村 敏彦 | [(一社)日本損害保険協会] | 生活サービス部長] |
| 委員 | 安田 克明 | [日産自動車(株)] | 渉外部 部長] |

(3) 事業委員会 (7名)

| | | | |
|------|-------|--------------------|--------------|
| 委員長 | 西村 敏彦 | 〔(一社)日本損害保険協会 | 生活サービス部長〕 |
| 副委員長 | 島崎 有平 | 〔(一社)日本自動車販売協会連合会 | 常務理事〕 |
| 委員 | 木暮 守雄 | 〔(公社)全国工業高等学校長協会 | 事務局長〕 |
| 委員 | 坂村 映二 | 〔(一社)全国軽自動車協会連合会 | 二輪業務部 部長〕 |
| 委員 | 高橋 徹 | 〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 | 教育・技術部 部長代理〕 |
| 委員 | 永田 一彦 | 〔(一社)日本自動車連盟 | 交通環境部部長〕 |
| 委員 | 松本 行弘 | 〔(一社)日本自動車工業会 | 総務統括部長〕 |

①技術教育部会 (8名)

| | | |
|------|-------|---|
| 部会長 | 藤原 登 | 〔マツダ(株) 法人営業部東京法人販売グループ エキスパート〕 |
| 副部会長 | 渡辺 朋栄 | 〔三菱自動車工業(株) サービス本部サービスエンジニアリング部マネージャー〕 |
| 委員 | 木村 壮一 | 〔東京都立北豊島工業高等学校 総合技術科 教諭〕 |
| 委員 | 清水 譲二 | 〔日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外 主査〕 |
| 委員 | 角南 光洋 | 〔本田技研工業(株) 日本営業本部四輪品質サービス部サービス人材育成課 課長〕 |
| 委員 | 徳田 英明 | 〔トヨタ自動車(株) 国内サービス部 総括室 東京サービスグループ 担当課長〕 |
| 委員 | 富山 健治 | 〔東京都立六郷工科高等学校 ホトモビル工学科 教諭〕 |
| 委員 | 山本 義章 | 〔(一社)日本自動車機械工具協会 校正企画部 企画課 係長〕 |

②調査普及部会 (9名)

| | | |
|------|-------|--|
| 部会長 | 高橋 信行 | 〔(一社)日本自動車工業会 業務統括部 副統括部長〕 |
| 副部会長 | 佐藤 妙子 | 〔トヨタ自動車(株) 渉外部 第1渉外室 プロフェッショナルパートナー〕 |
| 委員 | 加美山博明 | 〔三井住友海上火災保険(株) 損害サポート業務部自動車チーム 主任〕 |
| 委員 | 志摩 昌彦 | 〔東京海上日動火災保険(株) 自動車営業開発部 部長〕 |
| 委員 | 高橋 勝也 | 〔東京都立桜修館中等教育学校 公民科主任教諭〕 |
| 委員 | 竹村 公一 | 〔損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株) 自動車リスクコンサルティング本部 企画開発部長〕 |
| 委員 | 田村 里志 | 〔(一社)日本自動車会議所 広報部長〕 |
| 委員 | 仲 信之 | 〔成蹊高等学校 教諭〕 |
| 委員 | 平野 幸夫 | 〔(一社)日本損害保険協会 生活サービス部安全安心推進グループ 担当課長〕 |

③研修部会 (8名)

| | | |
|------|-------|----------------------------------|
| 部会長 | 廣野 常也 | 〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 部長〕 |
| 副部会長 | 柴田 年輝 | 〔(一社)日本自動車連盟 交通環境部 事業推進課長〕 |
| 委員 | 安部 敬 | 〔東京都立深川高等学校 公民科教諭〕 |
| 委員 | 小原 喜昭 | 〔(一社)日本損害保険協会 生活サービス部企画グループリーダー〕 |
| 委員 | 坂村 映二 | 〔(一社)全国軽自動車協会連合会 二輪業務部 部長〕 |
| 委員 | 田中 篤司 | 〔専門学校 日産横浜自動車大学校 校長〕 |
| 委員 | 柘植 正邦 | 〔本田技研工業(株) 渉外部 技術主任〕 |
| 委員 | 八木橋稔之 | 〔(一社)日本自動車販売協会連合会 法務部次長〕 |

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

- ①第4回 平成25年5月17日(金) 13:30~15:00
議題 ①第4回理事会提案資料について
②第2回定時評議員会提案資料について
③第5回理事会提案資料について
- ②第5回 平成25年11月1日(金) 14:00~15:30
議題 ①平成25年度上期財団事業進捗状況について
- ③第6回 平成26年2月26日(水) 14:00~15:30
議題 ①第6回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

- ①第2回 平成25年8月6日(火) 10:30~12:30
議題 ・平成25年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考
(支援対象校及び支援内容の決定)

(3) 事業委員会

- ①第3回 平成25年10月30日(水) 15:00~16:30
議題 ①平成25年度上期財団事業進捗状況について
- ②第4回 平成26年2月24日(月) 15:00~16:30
議題 ①平成25年度事業進捗状況及び平成26年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

- ①第5回 平成25年5月21日(火) 15:30~16:45
議題 ①平成25年度自動車教育用教材の公募案内について
②平成23年度教材提供校自動車教育用教材活用状況について
③平成25年度技術系講師派遣について
- ②第6回 平成25年7月29日(月) 15:30~16:50
議題 ①平成25年度教材提供活動応募状況の報告
②平成25年度審査委員会提案内容説明と確認
③平成25年度技術系講師派遣応募・実施状況の報告
- ③第7回 平成25年10月22日(火) 15:30~16:50
議題 ①平成25年度技術教育支援事業・上期実績報告
②平成25年度技術系講師派遣状況について
- ④第8回 平成26年2月12日(水) 15:30~16:50
議題 ①平成26年度財団事業計画(案)について
②平成26年度技術教育支援事業計画(案)について
③平成26年度技術系講師派遣メニュー(案)について
④平成26年度自動車教育用教材メニュー(案)について

(5) 調査普及部会

- ①第3回 平成25年10月24日(木) 15:00~16:30
議題 ①平成25年度 調査研究事業の進捗状況について
②平成25年度 普及啓発事業の進捗状況について
- ②第4回 平成26年2月18日(火) 15:00~16:30
議題 ①平成26年度 財団事業計画(案)について
②平成26年度 調査研究事業計画(案)について
③平成26年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

- ①第3回 平成25年10月23日(水) 15:30~17:00
議題 ①平成25年度 研修事業上期進捗状況について
- ②第4回 平成26年2月19日(水) 14:00~15:30
議題 ①平成26年度 財団事業計画(案)について
②平成26年度 研修事業計画(案)について

※上記の委員会・部会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月~)の通算回数を表記した。

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

自動車教育推進協議会一覧表

平成 26 年 3 月 31 日現在

| 名 称 | 設置年月日 (平成) | 会 長 | 事 務 局 | |
|-------------------|---------------|-----------|-----------|--------------------------------|
| | | | 事務局長 | 所在地 |
| 1 北海道自動車教育推進協議会 | 13. 1.10 | 杉 本 互 | 赤 間 誠 | 札幌市東区北28条東1丁目 札幌自動車会館 |
| 2 青森県自動車教育推進協議会 | 8. 5.17 | 今 井 高 志 | 牧 野 健 一 | 青森市奥野 1-12-3 |
| 3 岩手県自動車教育推進協議会 | 14. 3.20 | 吉 田 典 雄 | 山 口 正 | 紫波郡矢巾町流通センター南 2-8-3 |
| 4 宮城県自動車教育推進協議会 | 12.11. 1 | 野 萱 和 夫 | 菊 地 憲 満 | 仙台市宮城野区扇町 3-3-10 宮城県交通会館 |
| 5 福島県自動車教育推進協議会 | 12.12. 1 | 佐 藤 修 朗 | 宮 村 和 男 | 福島市吉倉字名倉 1-1 佛福自販会館 |
| 6 秋田県自動車教育推進協議会 | 12.11. 1 | 三 浦 廣 巳 | 小 松 龍 夫 | 秋田市八橋大畑 2-12-55 |
| 7 山形県自動車教育推進協議会 | 12.11. 1 | 鈴 木 吉 徳 | 秋 葉 勝 義 | 山形市大字漆山字行段 1422 |
| 8 新潟県自動車教育推進協議会 | 13.11. 1 | 等々力 徹 | 上 田 太 喜 雄 | 新潟市中央区東出来島 11-16 新潟県自動車会館 |
| 9 (一社)長野県自動車販売店協会 | 13. 5.23 | 宇都宮 保 | 上 原 英 二 | 長野市大字高田字五分一沖 679-10 長野県自動車会館 |
| 10 茨城県自動車教育推進協議会 | 14.10. 1 | 幡 谷 定 俊 | 市 川 昌 幸 | 水戸市住吉町 292-5 茨城県自動車会館 |
| 11 栃木県自動車教育推進協議会 | 12.10.25 | 喜 谷 辰 夫 | 鈴 木 忠 明 | 宇都宮市今宮 2-4-6 栃木県自動車会館 |
| 12 群馬県自動車教育推進協議会 | 14. 9. 1 | 都 丸 正 樹 | 三 木 建 男 | 前橋市野中町 564 群馬自販会館 |
| 13 埼玉県自動車教育推進協議会 | 18.10. 1 | 平 沼 一 幸 | 山 根 博 安 | さいたま市西区中釘 2255 埼玉自販会館 |
| 14 千葉県自動車教育推進協議会 | 14. 4. 1 | 加 藤 勇 | 芝 入 徳 夫 | 千葉市美浜区新港 207 |
| 15 東京都自動車教育推進協議会 | 17.11.18 | 永 安 省 三 | 福 田 信 行 | 東京都品川区西五反田 4-32-9 |
| 16 神奈川県自動車教育推進協議会 | 14.10. 1 | 上 野 建 彦 | 山 田 徹 | 横浜市都筑区池辺町 3663 神奈川自販会館 |
| 17 山梨県自動車教育推進協議会 | 15. 5.30 | 田 中 好 輔 | 興 石 光 彦 | 笛吹市石和町唐柏 1000-7 山梨県自動車販売店会館 |
| 18 富山県自動車教育推進協議会 | 12.12. 1 | 黒 澤 敏 | 嘉 指 博 行 | 富山市新庄町馬場 18-8 富山県自販会館 |
| 19 石川県自動車教育推進協議会 | 12.12. 1 | 要 明 英 二 | 田 賀 勝 | 金沢市入江 3-134 石川県自動車販売店会館 |
| 20 福井県自動車教育推進協議会 | 12.12. 6 | 多 田 伸 | 酒 井 定 雄 | 福井市西谷 1-1401 福井県自動車会館 |
| 21 岐阜県自動車教育推進協議会 | 17.10.24 | 村 瀬 洋 介 | 小 野 武 | 岐阜市日置江 2648-2 岐阜自動車会館 |
| 22 静岡県自動車教育推進協議会 | 16. 2.18 | 杉 山 智 彦 | 平 川 君 男 | 静岡市駿河区国吉田 2-4-35 静岡県自販会館 |
| 23 愛知県自動車教育推進協議会 | 15.10. 1 | 小 栗 一 朗 | 大 林 嘉 明 | 名古屋市中区昭和橋通 4-8-2 愛知県自販会館 |
| 24 三重県自動車教育推進協議会 | 13. 3.10 | 岩 井 純 朗 | 松 尾 元 弘 | 津市雲出長常町字六ノ割 1190-1 三重県自動車会議所会館 |
| 25 滋賀県自動車教育推進協議会 | 15. 2. 1 | 井 上 雄 二 | 塚 本 治 雄 | 守山市木浜町 2299-12 滋賀県自販会館 |
| 26 京都府自動車教育推進協議会 | 14. 9. 1 | 森 川 莫 臣 | 小 寺 雅 夫 | 京都市伏見区竹田向代町 51-5 京都自動車会館 |
| 27 大阪府自動車教育推進協議会 | 18.11. 1 | 堀 内 俊 樹 | 柳 田 重 利 | 寝屋川市高宮栄町 13-1 |
| 28 兵庫県自動車教育推進協議会 | 13. 7. 1 | 西 原 興 一 郎 | 平 田 博 美 | 神戸市東灘区魚崎浜町 33 兵庫県自動車会館 2F |
| 29 奈良県自動車教育推進協議会 | 15. 3. 1 | 菊 池 攻 | 辻 隆 範 | 大和郡山市額田部北町 981-8 奈良県自動車会館内 |
| 30 和歌山県自動車教育推進協議会 | 12.11. 1 | 横 山 善 行 | 藪 田 偉 | 和歌山市湊 1106 和歌山県自動車会館 |
| 31 鳥取県自動車教育推進協議会 | 15. 4.14 | 大 月 徹 | 川 瀬 芳 美 | 鳥取市丸山町 246-1 |
| 32 島根県自動車教育推進協議会 | 14.11. 1 | 野々村 健造 | 久保田 茂実 | 松江市馬潟町字 43-4 |
| 33 岡山県自動車教育推進協議会 | 14.11. 1 | 山 口 洋 之 | 鳴 坂 和 夫 | 岡山市高屋 119-5 岡山県自動車販売店会館 |
| 34 広島県自動車教育推進協議会 | 11. 9. 1 | 上 野 弘 文 | 藤 原 弘 登 | 広島市西区観音新町 4-13-13-3 広島県自動車会館 |
| 35 山口県自動車教育推進協議会 | 11. 3. 1 | 中 野 文 夫 | 小 林 繁 | 山口市葵 1-5-58 山口県自動車会館 |
| 36 徳島県自動車教育推進協議会 | 8.12.16 | 河 野 宏 | 武 田 耕 二 | 徳島市応神町応神産業団地 1-6 徳島県自動車会館 |
| 37 香川県自動車教育推進協議会 | 17. 1. 1 | 国 東 直 矢 | 森 幹 男 | 高松市香西東町 278-1 |
| 38 愛媛県自動車教育推進協議会 | 14. 9. 1 | 五 味 久 枝 | 高 田 昌 資 | 松山市森松町 1075-2 |
| 39 高知県自動車教育推進協議会 | 15. 7.29 | 西 山 忠 利 | 秋 山 教 二 郎 | 高知市大津乙 1879-5 高知県自動車会館 |
| 40 福岡県自動車教育推進協議会 | 13.12. 1 | 有 田 耕 一 | 古 賀 敏 行 | 福岡市東区千早 3-9-23 福岡交通会館 |
| 41 佐賀県自動車教育推進協議会 | 13. 8. 1 | 前 田 博 憲 | 本 村 修 紹 | 佐賀市若楠 2-7-1 佐賀県自販会館 |
| 42 長崎県自動車教育推進協議会 | 15. 2. 1 | 円 田 昭 | 古 田 和 幸 | 長崎市中里町 1576-7 長崎県自販連会館 |
| 43 熊本県自動車教育推進協議会 | 12.11. 1 | 與 縄 義 昭 | 山 根 法 生 | 熊本市東区東町 4-14-8 熊本県自動車会館 |
| 44 大分県自動車教育推進協議会 | 10. 6.15 | 渡 邊 教 和 | 彌 田 達 美 | 大分市大津町 3-4-13 大分県交通会館 1F |
| 45 宮崎県自動車教育推進協議会 | 15. 7.11 | 佐土嶋 恒夫 | 中 武 光 博 | 宮崎市大字本郷北方字鶴戸尾 2735-25 宮崎県自販会館 |
| 46 鹿児島県自動車教育推進協議会 | 14. 3. 1 | 諏 訪 秀 治 | 平 原 清 雪 | 鹿児島市谷山港 2-4-9 鹿児島県自動車会館 |
| 47 沖縄県自動車教育推進協議会 | 8. 2.14 | 堀 川 恭 進 | 平 良 幸 生 | 浦添市港川 512-8 沖縄県自動車会館 |

(社)長野県自動車店協会設立は平成3年6月5日

〔Ⅲ〕 事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

公募に向けて、自動車技術教育用教材メニューの一部見直しを行なった。具体的には、基本的な OHV（4 サイクル）エンジンの説明模型だった動く掛図教材を、最新の DOHC エンジンに変更した。また、実習用工具トルクレンチは、大きいサイズのトルクレンチ 4 個を 1 セットとして提供してきたが、大小取り混ぜたセット（大サイズ 2 個、中サイズ 1 個、小サイズ 1 個計 4 個）も選択できるよう変更した。

公募は、18 県 270 校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、86 校から応募申請があった。

これらの応募申請について、8 月 6 日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、18 県、86 校の高校に自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10 月～3 月にかけて各高校へ発送を行い、平成 26 年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

(1) 平成 25 年度 自動車技術教育用教材メニュー 一覧

| 学習区分 | 記号 | 機 材 名 |
|-----------|----|---------------------|
| 視聴覚 教材 | 1 | 自動車の基礎・電気 |
| | 2 | 自動車の機械基礎 |
| | 3 | エンジンの作動原理 |
| | 4 | 駆動・制動装置 |
| | 5 | 動力伝達装置 |
| | 6 | 走行装置とかじ取り装置 |
| | 7 | ディーゼルエンジン燃料装置 |
| | 8 | 自動車の電気・電子技術 |
| | 9 | 自動車の新技術 |
| | 10 | eTOOLBOX ハイブリッド自動車編 |
| | 11 | 動く掛図教材（4サイクル・2サイクル） |
| 初級教材 | 12 | 分解組立用エンジン（汎用・126cc） |
| | 13 | 分解組立用キャブレターエンジン |
| | 14 | 分解組立用電子制御エンジン（軽自動車） |
| | 15 | 分解組立用電子制御エンジン（小型車） |
| | 16 | 実習用工具セット |
| | 17 | 実習用工具トルクレンチ |
| | 18 | 急速充電器 |
| | 19 | 低床型手動ジャッキ足踏付 2 t |
| 中級教材 | 20 | エンジンテスターセット |
| | 21 | トランスミッション |
| | 22 | 電子ブロック実験装置 |
| | 23 | 燃料電池実験キット |
| | 24 | ビデオスコープ |
| 上級教材 | 25 | 実車（中古車） |
| | 26 | エンジンベンチ |
| | 27 | 故障診断機 |

(2) 応募及び審査結果

| | | |
|---------------|--|-------------------------------------|
| 公募地域 (A地区) | 秋田、山形、群馬、山梨、新潟、長野、徳島、香川、愛媛、高知、 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄 合計 18 県 (対象校は 270 校) | |
| 応募校数 | 18 県、86 校 | |
| 支援校数 | 18 県、86 校 (提供校の詳細は 15 頁の提供校 一覧表をご参照方) | 累計支援校数 1,441 校 (平成 3 年からの累計数) |

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

平成 23 年度に教材提供を受けた高校を対象に、平成 24 年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。その内容は活用報告書としてまとめ、技術教育部会にて報告すると共に、今後の教材提供活動の参考資料とした。

| 教材区分 | 教材名 | 提供校数 | 年間総使用 (平均) | | |
|-------|-------------------------|------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | | | 活用対象生徒数 (人/1校あたり) | 年間総使用回数 (回/1校あたり) | 年間総使用日数 (日/1校あたり) |
| 視聴覚教材 | ビデオ教材(自動車の基礎・電気) | 5 | 47 | 16 | 16 |
| | CD-ROM 教材(エンジンの作動原理) | 4 | 62 | 12 | 12 |
| | CD-ROM 教材(駆動・制動装置) | 1 | 48 | 8 | 8 |
| | CD-ROM 教材(走行装置とかじ取り装置) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | CD-ROM 教材(ボディフレームと懸架装置) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | CD-ROM 教材(自動車の電気装置) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | CD-ROM 教材(先端技術とハイブリッド) | 1 | 40 | 8 | 8 |
| | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 6 | 150 | 10 | 10 |
| | 動く掛図教材(Hybridカーの作動原理) | 5 | 64 | 8 | 8 |
| 初級 | 分解組立用エンジン (汎用・126 c c) | 14 | 55 | 25 | 21 |
| | 分解組立用キャブレター式エンジン | 3 | 47 | 9 | 9 |
| | 分解組立用電子制御エンジン (軽自動車) | 1 | 48 | 28 | 18 |
| | 分解組立用電子制御エンジン (R・小型車) | 7 | 38 | 121 | 27 |
| | 実習用工具セット | 8 | 74 | 33 | 33 |
| | 実習用工具トルクレンチ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | エアークラスセット | 3 | 38 | 8 | 6 |
| | 急速充電器 | 5 | 143 | 20 | 20 |
| 中級 | エンジンテスターセット | 2 | 122 | 22 | 22 |
| | トランスミッション | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 電子ブロック実験装置 | 1 | 98 | 12 | 12 |
| | 燃料電池実験セット | 4 | 46 | 14 | 14 |
| 上級 | 実車 (中古車) | 3 | 64 | 23 | 23 |
| | エンジンベンチ | 3 | 69 | 16 | 15 |
| | 合計 (平均) | 76 | 70 | 28 | 19 |

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

分解組立用エンジンを提供した12校に対しては、教材納入が始まる11月に、専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立DVDビデオ」を提供した。

また、汎用エンジンを提供した20校に対しては、教材納入時(10月)に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスをを行った。

(1) 「分解・組立DVDビデオ」の提供校

| | 高等学校名 |
|----|-----------------|
| 1 | 徳島県立阿南工業高等学校 |
| 2 | 香川県立三豊工業高等学校 |
| 3 | 愛媛県立今治工業高等学校 |
| 4 | 愛媛県立吉田高等学校 |
| 5 | 高知県立高知東工業高等学校 |
| 6 | 学校法人真颯館 真颯館高等学校 |
| 7 | 長崎県立大村工業高等学校 |
| 8 | 熊本県立翔陽高等学校 |
| 9 | 大分県立鶴崎工業高等学校 |
| 10 | 宮崎県立日向工業高等学校 |
| 11 | 鹿児島県立鹿屋工業高等学校 |
| 12 | 沖縄県立宮古工業高等学校 |

(2) 訪問指導実施校

| | 学校名 | 実施日 |
|----|----------------|-----------|
| 1 | 秋田県立能代工業高等学校 | 10/23 (水) |
| 2 | 秋田県立横手清陵学院高等学校 | 10/22 (火) |
| 3 | 山形県立長井工業高等学校 | 10/22 (火) |
| 4 | 群馬県立前橋工業高等学校 | 10/10 (木) |
| 5 | 山梨県立富士北稜高等学校 | 10/11 (金) |
| 6 | 長野県岩村田高等学校 | 10/10 (木) |
| 7 | 長野県岡谷工業高等学校 | 10/10 (木) |
| 8 | 長野県駒ヶ根工業高等学校 | 10/11 (金) |
| 9 | 徳島県立貞光工業高等学校 | 10/15 (火) |
| 10 | 愛媛県立新居浜工業高等学校 | 10/15 (火) |
| 11 | 福岡県立田川科学技術高等学校 | 10/16 (水) |
| 12 | 祐誠高等学校 | 10/16 (水) |
| 13 | 北陵高等学校 | 10/16 (水) |
| 14 | 長崎県立長崎工業高等学校 | 10/17 (木) |
| 15 | 佐世保実業高等学校 | 10/16 (水) |
| 16 | 熊本県立天草工業高等学校 | 10/17 (木) |
| 17 | 鹿児島県立薩南工業高等学校 | 10/18 (金) |
| 18 | 鹿児島県立奄美高等学校 | 10/28 (月) |
| 19 | 鹿児島県立曾於高等学校 | 10/18 (金) |
| 20 | 沖縄県立南部工業高等学校 | 10/28 (月) |

3) 協賛支援活動

協賛支援活動として、下記の第56回全国自動車教育研究大会を支援した。

| | |
|------|---|
| 名 称 | 第56回全国自動車教育研究大会 |
| 主 催 | 全国自動車教育研究会 |
| 目 的 | 高等学校・高等専門学校 of 自動車関連学科における自動車教育に関わる教職員の資質向上と自動車教育の振興と発展を図る。 |
| 参加者 | 全国高等学校における自動車教育関係職員 約70名 |
| 開催時期 | 平成25年10月17日(木)～18日(金) (於：福岡県北九州市) |
| 協賛金 | 1,500,000円 |

4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供対象18県については、全県で教材贈呈式及び教育懇談会を実施した。そこでは、教材提供を受けた高校の校長・担当教諭を始めとする教育関係者と、自動車教育推進協議会のメンバーによる、自動車技術教育の現状と課題についての熱心な情報交換が行われ、今後の自動車教育推進の参考となる実り多い会合となった。

(参加者の詳細は、37～43頁の【資料2】をご参照方)

[贈呈式・教育懇談会開催一覧]

| 地域 | 校数 | 開催日 | 開催場所 | 参加人数 | | |
|-----|----|----------|-----------------|------|------|-----|
| | | | | 協議会 | 学校関係 | 計 |
| 群馬 | 4 | 11月6日 水 | 群馬自販会館 | 7 | 9 | 16 |
| 秋田 | 7 | 11月8日 金 | 秋田県自動車会議所 | 6 | 9 | 15 |
| 長野 | 6 | 11月8日 金 | ホテルメトロポリタン長野 | 7 | 7 | 14 |
| 熊本 | 4 | 11月11日 月 | 熊本ホテルキャッスル | 7 | 11 | 18 |
| 福岡 | 11 | 11月12日 火 | ハイアット・リージェンシー福岡 | 8 | 21 | 29 |
| 新潟 | 1 | 11月15日 金 | 塩沢商工高等学校 | 2 | 4 | 6 |
| 山形 | 3 | 11月19日 火 | 山形グランドホテル | 6 | 7 | 13 |
| 香川 | 5 | 11月21日 木 | リーガホテルゼスト高松 | 8 | 8 | 16 |
| 長崎 | 4 | 11月25日 月 | ホテルセントヒル長崎 | 7 | 7 | 14 |
| 徳島 | 4 | 11月25日 月 | JAF徳島支部 | 6 | 6 | 12 |
| 高知 | 4 | 11月26日 火 | 高知パシフィックホテル | 7 | 9 | 16 |
| 鹿児島 | 6 | 11月28日 木 | ホテル・レクストン鹿児島 | 5 | 9 | 14 |
| 佐賀 | 4 | 11月29日 金 | グランデはがくれ | 6 | 8 | 14 |
| 山梨 | 3 | 12月3日 火 | 山梨自動車販売店会館 | 6 | 4 | 10 |
| 宮崎 | 4 | 12月4日 水 | 宮崎観光ホテル | 7 | 8 | 15 |
| 沖縄 | 6 | 12月5日 木 | 美来工科高等学校 | 3 | 11 | 14 |
| 大分 | 6 | 12月12日 木 | 大分オアシスタワーホテル | 7 | 14 | 21 |
| 愛媛 | 4 | 12月13日 金 | 愛媛自動車会館 | 7 | 6 | 13 |
| 合計 | 86 | | | 111 | 157 | 268 |

平成25年度
自動車技術教育用教材 提供校一覧表

| 分類番号 | 県名 | 学校名 | 機材名 | 数量 | 分類番号 | 県名 | 学校名 | 機材名 | 数量 |
|------|----|------------------|---------------------|------|------|-----------------|---------------------|---------------------|------|
| K01 | 秋田 | 1 秋田県立秋田工業高等学校 | 視聴覚教材(エンジンの作動原理) | 1セット | 福岡 | K42 | 1 福岡県立菊田工業高等学校 | 低床型手動ジャッキ足踏付 2T | 1台 |
| K02 | | 2 秋田県立大館工業高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | | K43 | 2 福岡県立小倉工業高等学校 | 急速充電器 | 1台 |
| K03 | | 3 秋田県立能代工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | | K44 | 3 福岡県立戸畑工業高等学校 | 実車(中古車) | 1台 |
| K04 | | 4 秋田県立由利工業高等学校 | 視聴覚教材(エンジンの作動原理) | 1セット | | K45 | 4 福岡県立福岡工業高等学校(定) | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット |
| K05 | | 5 秋田県立大曲工業高等学校 | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット | | K46 | 5 福岡県立八女工業高等学校 | 視聴覚教材(自動車の電気・電子技術) | 1セット |
| K06 | | 6 秋田県立横手清陵学院高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | | K47 | 6 福岡県立田川科学技術高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 |
| K07 | | 7 秋田県立湯沢翔北高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | | K48 | 7 福岡市立博多工業高等学校 | エンジンベンチ | 1台 |
| K08 | 山形 | 1 山形県立米沢工業高等学校 | eTOOLBOXハイブリッド自動車編 | 1セット | K49 | 8 真凧館高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | |
| K09 | | 2 山形県立長井工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K50 | 9 豊国学園高等学校 | 電子ブロック実験装置 | 1セット | |
| K10 | | 3 山形県立正高等学校 | エンジンベンチ | 4台 | K51 | 10 飯塚高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | |
| K11 | 群馬 | 1 群馬県立前橋工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K52 | 11 祐誠高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K12 | | 2 群馬県立桐生工業高等学校 | 電子ブロック実験装置 | 1セット | K53 | 1 佐賀県立佐賀工業高等学校 | 急速充電器 | 1台 | |
| K13 | | 3 群馬県立藤岡工業高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | K54 | 2 佐賀県立唐津工業高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | |
| K14 | | 4 群馬県立富岡実業高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | K55 | 3 北陵高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K15 | 山梨 | 1 山梨県立韭崎工業高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | K56 | 4 敬徳高等学校 | 実車(中古車) | 1台 | |
| K16 | | 2 山梨県立富士北稜高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K57 | 1 長崎県立長崎工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K17 | 新潟 | 1 新潟県立塩沢商工高等学校 | 実習用工具トルクレンチ | 4個 | K58 | 2 長崎県立大村工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(軽自動車) | 4台 | |
| K18 | | 1 長野県中野立志館高等学校 | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット | K59 | 3 長崎県立鹿町工業高等学校 | eTOOLBOXハイブリッド自動車編 | 1セット | |
| K19 | 長野 | 2 長野県長野工業高等学校 | 視聴覚教材(エンジンの作動原理) | 1セット | K60 | 4 佐世保実業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 1セット | |
| K20 | | 3 長野県岩村田高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K61 | 1 熊本県立小川工業高等学校 | 急速充電器 | 1台 | |
| K21 | | 4 長野県岡谷工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K62 | 2 熊本県立水俣工業高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | |
| K22 | | 5 長野県駒ヶ根工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K63 | 3 熊本県立天草工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K23 | | 6 長野県池田工業高等学校 | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット | K64 | 4 熊本県立翔陽高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | |
| K24 | 徳島 | 1 徳島県立徳島科学技術高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | K65 | 1 大分県立国東高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | |
| K25 | | 2 徳島県立阿南工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | K66 | 2 大分県立大分工業高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | |
| K26 | | 3 徳島県立新野高等学校 | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット | K67 | 3 大分県立鶴崎工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(軽自動車) | 4台 | |
| K27 | | 4 徳島県立貞光工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K68 | 4 大分県立津久見高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット | |
| K28 | 香川 | 1 香川県立高松工芸高等学校 | 実習用工具セット | 4台 | K69 | 5 大分県立中津東高等学校 | 急速充電器 | 1台 | |
| K29 | | 2 香川県立坂出工業高等学校 | 実車(中古車) | 1台 | K70 | 6 大分高等学校 | 故障診断機 | 1台 | |
| K30 | | 3 香川県立飯山高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | K71 | 1 宮崎県立延岡工業高等学校 | 視聴覚教材(エンジンの作動原理) | 1セット | |
| K31 | | 4 香川県立多度津高等学校 | 電子ブロック実験装置 | 1台 | K72 | 2 宮崎県立日向工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | |
| K32 | | 5 香川県立三豊工業高等学校 | 分解組立用キャブレターエンジン | 2台 | K73 | 3 宮崎県立日南振徳高等学校 | 視聴覚教材(自動車の基礎・電気) | 1セット | |
| K33 | 愛媛 | 1 愛媛県立新居浜工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | K74 | 4 宮崎県立佐土原高等学校 | 燃料電池実験キット | 1組 | |
| K34 | | 2 愛媛県立今治工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(軽自動車) | 4台 | K75 | 1 鹿児島県立薩南工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K35 | | 3 愛媛県立松山工業高等学校 | 動く掛図教材 | 1台 | K76 | 2 鹿児島県立隼人工業高等学校 | 急速充電器 | 1台 | |
| K36 | | 4 愛媛県立吉田高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | K77 | 3 鹿児島県立鹿屋工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(軽自動車) | 4台 | |
| K37 | 高知 | 1 高知県立室戸高等学校 | 実習用工具トルクレンチ | 4個 | K78 | 4 鹿児島県立奄美高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K38 | | 2 高知県立高知東工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 | K79 | 5 鹿児島県立曾於高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 | |
| K39 | | 3 高知県立高知工業高等学校 | 実習用工具セット | 4組 | K80 | 6 鹿児島情報高等学校 | 視聴覚教材(動力伝達装置) | 1セット | |
| K40 | | 4 高知県立須崎高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1台 | K81 | 1 沖縄県立美来工科高等学校 | 実車(中古車) | 1台 | |
| K41 | | 5 高知県立宿毛工業高等学校 | エンジンベンチ | 1台 | K82 | 2 沖縄県立那覇工業高等学校 | 実車(中古車) | 1台 | |
| | | | | | K83 | 沖縄 | 3 沖縄県立南部工業高等学校 | 分解組立用エンジン(汎用・126cc) | 4台 |
| | | | | | K84 | | 4 沖縄県立宮古工業高等学校 | 分解組立用電子制御エンジン(小型車) | 4台 |
| | | | | | K85 | | 5 沖縄県立八重山商工高等学校 | 実習用工具セット | 4組 |
| | | | | | K86 | | 6 沖縄県立嘉手納高等学校 | 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル) | 1セット |

< 県別内訳 >

秋田 7校 山形 7校 群馬 4校 山梨 2校 新潟 1校 長野 6校 徳島 4校 香川 5校 愛媛 4校
高知 5校 福岡 11校 佐賀 4校 長崎 4校 熊本 4校 大分 6校 宮崎 4校 鹿児島 6校 沖縄 6校

合計18県86校

2.調査研究事業

1) 調査活動

若者のクルマに対する関心低下の課題を踏まえ、交通安全を中心とした従来の調査活動から、本年度は高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上に資する調査活動を中心に行なった。

(1) 海外調査の実施

①欧州調査

交通問題に関する調査を2回実施した。第1回目は7月下旬に、ドイツ（ハンブルク、フォルムスブルク等7都市）、フランス（パリ、ストラスブール2都市）を訪問し、欧州でのクルマ社会先進国であるドイツ、フランスの交通実態を調査した。ドイツ、フランスともクルマ、公共交通機関、自転車に対する交通施策を一体的に実施している。郊外にパーク&ライド駐車場をつくり、中心市街地へは公共交通機関や自転車で移動する交通網体系が出来上がっている。ドイツのパーク&ライド駐車場は無料であり、フランス・ストラスブールでは駐車場代はかかるものの、トラムの往復乗車券がもらえるため駐車場代が実質的に無料となるなど、公共交通への誘導を行なっていた。

また、カーシェアリングについては、ドイツ各都市やパリでの「乗り捨て方式」が急速に普及している様子がうかがわれた。この急増の背景には、ダイムラー、BMW、VWのドイツ3大自動車メーカーがカーシェアリングに本格参入したことがある。3社のカーシェアリングの特徴は、クルマを借りたステーション以外のステーションや道路脇などに返却できる「乗り捨て方式」という新しい利用形態を採用したことで、この利便性がユーザーに受け入れられた結果、カーシェアリングが一気に拡大したと考えられる。

クルマ先進国であるドイツでのクルマ文化を探るべく、耐久レースが開催されているニュルブルクリンクというサーキットや自動車博物館を視察した。最も印象的だったのは、ニュルブルクリンクは平日夕方や週末が低料金で一般開放されており、しかも一般人のサーキット走行を見学する若者や子供が多く見受けられたことである。トレーラーハウスで来ている家族もあり、モータースポーツがまさに大衆レジャー化している様子がうかがわれた。

②香港調査

第2回目は3月下旬に香港の公共交通を調査した。香港はチャージ式IC乗車券オクトパスを日本（JR東日本のスイカ）に先駆けて導入した、IC乗車券のパイオニアである。このカードは地下鉄やバス、ライトレール、フェリーなどほとんどの公共交通機関への乗車に使用できるだけでなく、コンビニやマクドナルド、スーパーなど多くの店で使用可能となっている。また、駐車場や道路脇のパーキングメーターはオクトパスでの支払いのみ可能であり、クルマユーザーにとってもオクトパスは欠かすことのできないものとなっている。

話を伺った日本人駐在員によると、その人の会社のオフィスやマンションに入る際のセキュリティチェックにもオクトパスが使われているとのことで、オクトパスは香港市民にとって欠かすことのできない存在であることが確認できた。

【海外調査の概要】

| | 第1回目 | 第2回目 |
|-------|---|---|
| 日程 | 平成25年7月17日～30日 | 平成26年3月24日～26日 |
| テーマ | 欧州主要国の交通施策 | 香港の公共交通調査 |
| 調査先 | ドイツ（ハンブルク、フォルスブルク、ノーフアー、デュッセルドルフ、ケルン、ニュルンベルク、シュトゥットガルト（7都市））、フランス（パリ、ストラスブール2都市） | 中国（香港） |
| 調査の様子 |  <p>▲ニュルンベルクリンク。コース脇の広場には多くの見物客が見られた。</p>  <p>▲ケルン：ホームに隣接した無料の立体式パーク＆ライド駐車場。</p> |  <p>▲オクトパスは携帯電話同様に常に帯同する存在</p>  <p>▲香港市内の公共駐車場の入退場にはオクトパスのみ使用可能。</p> |

(2) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を3回実施した。第1回目は3月から4月にかけて、「地方都市における公共交通のあり方」について調査した。地方都市において定時・定路線のバスが利用率の低下により採算性の悪化や自治体負担の増加がみられる中、利用者のニーズに応じて柔軟な運航を行う公共交通手段としてデマンド交通が全国的にも導入が広がっている。デマンド交通の提唱者である、福島大学の奥山修司教授に話を伺うとともに、教授が導入を指導された岡山県総社市のデマンド交通「雪舟くん」取材した。「雪舟くん」は、電話予約により、自宅から外出先へ、外出先から自宅へといったドア・ツー・ドアのサービス（相乗り型）を行い、料金はバス並みになっている。2011年4月に運航開始され、現在では9台のワンボックスカーが登録されており、ほぼフル稼働の状態であった。市民の満足度も高く、住民の生活スタイルと交通をマッチさせた、非常に有効なシステムであった。

第2回目は8月に「カーシェアリングと若者のクルマ利用」をテーマに、カーシェアリング最大手である「タイムズカープラス」の運営会社であるタイムズ24への取材と、都内のタイムズカープラス駐車場を調査した。タイムズカープラスの会員数は約23万人で、この1年間でほぼ倍増している。また、会員の6割は20代・30代の若者であるという。今回の調査により、気軽に利用でき経済性に優れたカーシェアリングが今後普及することで、クルマ保有をあきらめている若者のクルマ利用が増えていくことが期待される。また、カーシェアリングを経験しクルマの利便性、楽しさを実感することで、逆に自分のクルマを持ちたいという保有意向が強まることもわかった。クルマの新しい利用形態としてのカーシェアリングの可能性を認識することができた。

第3回目はクルマに関する高校生の意識を把握するために、Webによるアンケート調査とグループインタビュー調査を東京、大阪、福岡の3都市圏で実施した。この結果、高校生は、クルマを便利な移動手段として認識し、そして、クルマ以外の関心事が増えてクルマに対する関心は低くなり、クルマを持つことはかつてのような憧れの存在ではなくなっていることが分かった。また、クルマのCMについても、ほとんどの生徒が印象に残ったCMはないと回答していた。これは、若者のクルマに対する関心が薄れている一方で、クルマの情報を発信する側も若者に対する効果的なコミュニケーションがとれていないことを意味し、当財団はじめ関係団体・企業の課題が明らかになった。

【国内調査の概要】

| | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 |
|-------|--|---|--|
| 日程 | 平成25年3～4月 | 平成25年8月 | 平成25年10月～平成26年2月 |
| テーマ | 地方都市の公共交通の在り方 | カーシェアリングと若者のクルマ利用 | クルマに関する高校生の意識調査 |
| 調査先 | 岡山県、福島県 | 東京都内 | 東京、大阪、福岡3都市にてWeb調査及び座談会を実施 |
| 調査の様子 |  <p>▲「雪舟くん」を利用して大型スーパーに来た利用者</p> |  <p>▲小さい子供を連れてレジャーに出かける30代のカーシェアリング利用者</p> |  <p>▲高校生が撮影した東京モーターショー</p> |

| | Web調査 | グループインタビュー |
|-------|--|---|
| 調査地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉） ・大阪都市圏（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀） ・福岡都市圏（福岡、長崎、佐賀、大分、山口） | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉） ・大阪都市圏（大阪） ・福岡都市圏（福岡） |
| 調査対象者 | ・15歳～19歳の高校生 | ・15歳～19歳の高校生 |
| サンプル数 | ・各地域とも男女50名ずつ、計300名 | ・各地域とも男女6名ずつの2グループに分け、計6グループ、36名に実施 |
| 調査時期 | ・平成25年10月5日（土）～15日（火） | <ul style="list-style-type: none"> ・東京 平成25年12月8日（日） ・大阪 平成25年12月23日（月） ・福岡 平成26年2月2日（日） |

2) 教材作成活動

(1) 記事の作成

海外調査の結果については、調査報告書を作成し財団の調査普及部会や企画委員会などで報告するとともに、財団業務報告紙（『JAEF REPORT』）にて財団関係者へ概要を報告した。また、広報誌『Traffi-Cation』の掲載記事「海外交通事情報告」（2ページもの）として記事化した。また、国内調査の結果は広報誌『Traffi-Cation』の特集記事（6ページもの）として記事化した。

(2) 副教材の作成・提供

①社会科用の新副教材の作成

高校生・先生方のクルマや自動車産業に対する関心高揚や理解促進を図るため、社会科授業（政治・経済、現代社会、地理）での活用を想定した、新たな副教材の開発に着手した。平成 26 年度に完成させ、全国の高等学校に案内予定である。

②既存副教材の提供

昨年に引き続き、『くらしと交通安全』『くらしと交通』シリーズ (Vol. 1～Vol. 5) 『くらしと地球環境』シリーズ (Vol. 1～2) 別冊 Traffi-Cation 国内交通事例特集』シリーズ (Vol. 1～4) および『別冊 Traffi-Cation 海外交通事情報告』シリーズ (Vol. 1～4) の告知・提供を行なった。

全国公民科・社会科教育研究会が主催した経済証券セミナー（7/30(火)～8/1(木)開催、参加者約 140 名）や同研究会全国大会（8/5(月)～6(火)開催、参加約 150 名）にて財団活動や副教材の告知を実施した。また、ホームページ、広報誌、JAEF 研修会（年 4 回開催、参加者約 220 名）、および教育懇談会（18 県で実施。先生方の参加 160 名）で副教材告知を実施。この結果、平成 25 年度は副教材を 730 冊提供することができた。

3.研修事業

1) 財団研修活動

J A E F 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）については、研修テーマを「環境・技術」、「交通安全」として合計4回開催し、高等学校教諭とオブザーバー合計で216名（1回あたりの参加者は54名）が参加した。

研修会場の選定にあたっては、首都圏（2回）、中京圏（1回）、関西圏（1回）の3地域で開催した。

また、参加者募集案内を全国の高等学校にF A Xで送ったほか、過去2年間のJ A E F 研修会参加者への個別募集案内を実施するなど、告知活動の徹底を図った。

更に、先生方が参加しやすい環境作りの一環として、文部科学省および各開催都県の教育委員会の後援さらには、5つの高等学校教育関係団体から協賛を得た。

< J A E F 研修会開催実績 >

| 回数 | 月日と会場 | 講演テーマ、講師および見学施設 | 参加者数 | 後援/協賛 |
|------|---|--|------|--|
| 第89回 | 7月31日（水） トヨタ交通安全センター・モビリティ（静岡県駿東郡） | （講演） ・「交通安全の為のスキルとマインド」 － 交通安全と環境に対する配慮 － トヨタ交通安全センター モビリティ チーフトレーナー 神野 利夫 氏 | 31名 | 文部科学省 静岡県教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会 |
| | | （実習） ・安全運転トレーニング体験 | | |
| 第90回 | 8月20日（火） トヨタ博物館（愛知県長久手市） とよたエコフルタウン（愛知県豊田市） | （講演） ・「豊田市低炭素社会システム実証と都市交通システム「ハーモ」について」 トヨタ自動車(株) IT・ITS 企画部 都市交通システムグループ長 早田 敏也 氏 | 45名 | 文部科学省 愛知県教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会 |
| | | （見学） ・とよたエコフルタウン 実証施設見学・超小型モビリティ試乗 ・トヨタ博物館 クラシックカー走行見学・展示車両の見学 | | |
| 第91回 | 8月28日（水） ダイハツ工業株式会社 滋賀工場（滋賀県蒲生郡） | （講演） ・「軽自動車の歴史と新技術（スマートアシスト）」 ダイハツ工業株式会社製品企画部 チーフエンジニア 中島 雅之 氏 | 38名 | 文部科学省 滋賀県教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国総合学科高等学校校長協会 全国公民科・社会科教育研究会 |
| | | （実習） ・スマートアシスト体験試乗 | | |
| 第92回 | 11月22日（金） 有明ワシントンホテル（東京都江東区） | （講演） ・～人間主体のASVとITS～ 「ぶつからないクルマに見る先進安全技術」 交通コメンテーター （有）ナック 代表取締役 西村 直人 氏 | 102名 | 文部科学省 東京都教育委員会 全国高等学校長協会 全国工業高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国総合学科高等学校校長協会 全国公民科・社会科教育研究会 |
| | | （見学） ・第43回東京モーターショー | | |
| 計 | | | 216名 | |

2) 講師派遣活動

県教育委員会や学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。その結果、技術研修会・一般研修会あわせて203回の講師派遣が実施され、延べ77,058人の先生および生徒が参加した。これは、派遣件数、受講者数共に過去最多である。

203回の内訳は、テーマ別には技術研修会：25回、一般研修会：178回、対象者別には教諭対象：6回、教諭および生徒対象：197回であった。また、学校単位の開催も199回を数えた。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は203回中201回について県推進協議会メンバーの日本自動車連盟、日本損害保険協会、整備振興会、自動車販売会社から講師派遣の協力を受けた。特に、先生・生徒を対象とした交通安全講習会は178回に上った。

(講師派遣の詳細は、30～36頁の【資料1】をご参照方)

平成25年度・講師派遣支援メニューと派遣件数

| 区分 | ジャンル | 研修メニュー | 派遣講師 (派遣団体・企業) | 派遣件数 (回) |
|------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|-------------|
| 技術系 | 自動車の整備技術 〔体験型〕 | ① 「ガソリンエンジンの分解・組立」 | 整備振興会 | 3 |
| | | ② 「トランスミッションの分解・組立」 | 整備振興会 | 0 |
| | | ③ 「電子制御エンジンの構造と点検・整備」 | 整備振興会 | 1 |
| | 自動車の最新技術 〔講演型〕 | ④ 「トヨタ・ハイブリッド車について」 | トヨタ系ディーラー | 12 |
| | | ⑤ 「ホンダ・ハイブリッド車について」 | トヨタ系ディーラー | 4 |
| | | ⑥ 「マツダ・SKYACTIV エンジンについて」 | マツダ | 1 |
| | | ⑦ 「日産・電気自動車について」 | 日産系ディーラー | 3 |
| | | ⑧ 「三菱・プラグインハイブリッド車について」 | 三菱自動車工業 | 1 |
| 技術系 計 | | | | 25 |
| 一般系 (社会科系) | 環境 | ⑨ 「地球温暖化防止と自動車技術」 | 自動車メーカー 自工会、他 | 0 |
| | 交通 | ⑩ 「ITSと未来の交通・まちづくり」 | ITS Japan、他 | 0 |
| | 交通安全 | ⑪ 「危険予知による交通安全」 | 日本自動車連盟 | 112 |
| | | ⑫ 「クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全」 | 日本自動車連盟 | 37 |
| | | ⑬ 「交通事故とその責任」 | 日本損害保険協会 | 14 |
| ⑭ 「自転車と交通安全について」 | 日本損害保険協会 | 15 | | |
| 一般系 計 | | | | 178 |
| 全体合計 | | | | 203 |

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 広報誌『Traffi-Cation』の発行

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として、広報誌「Traffi-Cation」を下表の通り3回発行し、全国の高等学校（約5,900校）や定期送付希望の先生方へ提供した。

今年度は、若者のクルマに対する関心の向上や理解促進のために、クルマ・交通に関する話題を中心に記事を作成した。また、従来の2色刷り・縦書きの構成から、フルカラー・横書きに変更し、読みやすさを向上させた。さらに、特集としてとりあげるまでではなくともクルマ・交通社会の理解促進に役立つ旬なテーマを取り上げるため、35号より「トピックス」（1ページ）コーナーを設けた。

【「Traffi-Cation」発行状況】

| 番号 | 発行日 | タイトル・内容 |
|--------------|-----------|--|
| No. 33 夏号 | 24. 6. 15 | <ul style="list-style-type: none"> *特集 「地方都市における公共交通のあり方」 *海外交通事情報告 第33回 「カーシェアリング(1)米国における電気自動車シェアリング Car2Go」 *人、クルマ、そして夢。 第2回 「衝突被害軽減ブレーキ」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介) |
| No. 34 秋号 | 24. 9. 15 | <ul style="list-style-type: none"> *特集 「カーシェアリングと若者のクルマ利用」 *海外交通事情報告 第34回 「カーシェアリング(2)ドイツの乗り捨て方式カーシェアリング」 *人、クルマ、そして夢。 第3回 「原付2種バイク」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介) |
| No. 35 春号 | 25. 3. 15 | <ul style="list-style-type: none"> *特集 「高校生のクルマに対する関心度をみる」 *トピックス 「自転車はどこを走る？—道路交通法の改正」 *海外交通事情報告 第35回 「カーシェアリング(3)フランス・パリの官民共同カーシェアリング」 *人、クルマ、そして夢。 第4回 「ITSは“大きな家”」 *日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介) |



No. 33 夏号



No. 34 秋号



No. 35 春号

(2) Traffi-Cation の提供先

全国高等学校向けサンプル提供については、これまで毎号送付していたが、サンプル提供は春号のみとし、夏号・秋号についてはFAXにて案内し、効率化と定期読者の増加に務めた。(3月末現在定期読者数810人)。

<定期読者>

・継続要望者 2,360部

<サンプル提供先>

①社会科系研究会参加者に対する直接配布 700部
(全国公民科・社会科教育研究会全国大会、他)
②JAEF研修会・贈呈式参加者に対する直接配布 510部
③学校名簿に基づく広域展開(学校宛配送) 5,900部
_(全国約5,900校の社会科系および生徒指導担当教諭等)
*小計 7,110部

<参考提供先>

①県教育委員会 140部
②報道関係者(ニュースリリース配送先) 60部
③財団関係者(JAEF REPORT 配送先) 1,470部
*小計 1,670部

*合計 11,140部

2) 広域普及啓発活動

(1) マスコミ向けの「財団事業計画説明会」の開催

第2回定時評議員会における、平成24年度事業報告並びに平成25年度事業計画の承認を受けて、同会議の翌日(6月14日)日本自動車会館 くるまプラザ会議室において、恒例となった「財団事業計画説明会」を実施した。自動車・損保・教育関係専門紙誌が対象で、参加者はマスコミ8名・関係団体2名であった。事務局からの説明のあと、質疑が行われた。ハイブリッド車や電気自動車が増えてきており、財団の提供教材に加える予定はあるかなど、多くの質問・意見等が出され、有意義な会合となった。

(2) 「ニュースリリース」の発行

前年度に引き続き、報道機関向けのニュースリリース「JAEF NEWS」をタイムリーに発行(年間24回)した。

【「JAEF NEWS」発行状況】

| 番号 | 発行日 | タイトルと内容 |
|---------|------------|----------------------------------|
| No. 593 | 25. 6. 14 | 平成 25 年度定時評議員会を開催 |
| No. 594 | 25. 7. 3 | 「第 89 回 JAEF 研修会」を開催（モビリティ） |
| No. 595 | 25. 7. 23 | 「第 90 回 JAEF 研修会」を開催（とよたエコフルタウン） |
| No. 596 | 25. 7. 31 | 「第 91 回 JAEF 研修会」を開催（ダイハツ工業） |
| No. 597 | 25. 8. 6 | 平成 25 年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定 |
| No. 598 | 25. 10. 16 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（群馬県） |
| No. 599 | 25. 10. 16 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（秋田県） |
| No. 600 | 25. 10. 16 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（長野県） |
| No. 601 | 25. 10. 23 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（熊本県） |
| No. 602 | 25. 10. 23 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（福岡県） |
| No. 603 | 25. 10. 23 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（新潟県） |
| No. 604 | 25. 10. 29 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（山形県） |
| No. 605 | 25. 10. 29 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（香川県） |
| No. 606 | 25. 11. 1 | 「第 92 回 JAEF 研修会」を開催（東京モーターショー） |
| No. 607 | 25. 11. 5 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（長崎県） |
| No. 608 | 25. 11. 5 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（徳島県） |
| No. 609 | 25. 11. 5 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（高知県） |
| No. 610 | 25. 11. 7 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（鹿児島県） |
| No. 611 | 25. 11. 7 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（佐賀県） |
| No. 612 | 25. 11. 13 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（山梨県） |
| No. 613 | 25. 11. 13 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（宮崎県） |
| No. 614 | 25. 11. 13 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（沖縄県） |
| No. 615 | 25. 11. 21 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（大分県） |
| No. 616 | 25. 11. 21 | 自動車技術教育用教材の贈呈式を開催（愛媛県） |

（3）広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページとパンフレットは平成 24 年度に一新したため、基本コンセプトは継承しつつ小幅改訂にとどめた。ホームページについては、タイムリーな情報発信を心がけ、JAEF 研修会の活動内容や広報誌 Traffi-Cation のバックナンバーの閲覧を可能とするなど、内容の拡充を行なった。また、情報の更新が行われたことをわかりやすくするためトップページに更新履歴を表示するようにした。この結果、ホームページ訪問者数は前年度より 3 割増加した。



ホームページ トップ画面



財団パンフレット

【ホームページ訪問者数（月平均）】

| | H 2 0 | H 2 1 | H 2 2 | H 2 3 | H 2 4 | H 2 5 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年 度 | 1, 735 | 1, 964 | 1, 931 | 1, 964 | 2, 483 | 3, 263 |
| 上 期 | 1, 708 | 1, 862 | 1, 906 | 1, 996 | 2, 355 | 3, 326 |
| 下 期 | 1, 763 | 2, 066 | 2, 017 | 1, 932 | 2, 611 | 3, 201 |

また、先生向けの財団支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした「JAIEF 支援メニュー【平成 25 年度版】」チラシも、下図のように改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



(4) 「JAEF REPORT」の発行

関係者向けの財団事業報告紙として「JAEF REPORT」(A4判・4頁・カラー)を定期的(4・7・10・1月の年4回)に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、本年度より「JAEF REPORT」をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【「JAEF REPORT」発行状況】

| 番 号 | 発行日 | タイトル・内容 |
|---------|----------|---|
| No. 217 | 25. 4. 5 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人2年目を迎えて ◆ 平成24年度講師派遣:過去最多記録 ◆ 平成25年度講師派遣募集開始 ◆ 平成25年度自動車教育用教材公募予定 ◆ 平成24年度自動車用教材活用結果 ◆ 国内調査を実施 |
| No. 218 | 25. 7. 5 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 第4回理事会・第2回評議員会・第5回理事会を開催 ◆ 平成25年度事業計画説明会を開催 ◆ 平成25年度 JAEF 研修会の参加者を募集 ◆ 38都道府県の研修会(112件)に講師を派遣 ◆ 平成25年度 教材提供へ86校から公募 ◆ 平成24年度 提供教材活用状況を報告 |
| No. 219 | 25.10. 5 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 第89～91回 JAEF 研修会を開催 ◆ 21都道県(38件)の研修会に講師を派遣 ◆ 自動車技術教育を支援 ◆ 国内交通調査を実施 ◆ 欧州交通事情調査を実施 |
| No. 220 | 26. 1. 5 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新年のご挨拶 ◆ 18県で教材贈呈式を開催 ◆ 22道県(31件)の研修会に講師を派遣 ◆ 第92回 JAEF 研修会を開催 ◆ 高校生のクルマ意識調査を実施 ◆ 自動車技術教育イベントを支援 |

〔IV〕 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントに対する支援

前年度に引き続き、高校生が参加する全国イベント4件及び県別イベント4件に支援を実施した。なお、その内の5件は、地元の自動車教育推進協議会と連携し合同で支援を行なった。

| | イベント名称 | 開催日 | 開催地 | 主催者 | 協賛支援内容 | |
|----------|----------------------------|----------------|------|---------------------|--------|--------|
| | | | | | 財団 | 協議会 |
| 全国イベント支援 | 全国ソーラーラジコンカーコンテスト2013in 白山 | 8/1～3 | 石川 | 石川県 | 協賛金 | 賞状・盾授与 |
| | 第17回 スターリングテクノラリー | 11/9 | 埼玉 | スターリングテクノラリー技術会 | 協賛名義 | |
| | 第13回高校生ものづくりコンテスト全国大会 | 11/16～17 | 四国4県 | 全国工業高等学校長協会 | 協賛名義 | |
| | 2013 エコデンレース全国大会 | 11/23 | 大阪 | 全国自動車教育研究会 | 協賛金 | |
| 県別イベント支援 | 第18回三重県高校生テクノドリームフェア | 8/25 | 三重 | 三重県高等学校工業教育研究会 | 協賛金 | 協賛金 |
| | 2013 長野県高校生交通安全CMコンテスト | 10/26 | 長野 | 長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会 | 協賛金 | 協賛金 |
| | 第15回沖縄県高等学校エコデンレース大会 | 10/22 | 沖縄 | 沖縄県工業教育研究会 | 協賛金 | 協賛金 |
| | 第21回静岡県高校生エコラン大会 | 10/27 11/30 | 静岡 | 静岡県工業高等学校長会 | 協賛金 | 協賛金 |

2. 研究会及び研究大会に対する支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、3件の支援を実施した。

| | 支援対象 | 実施日 | 支援先 | 協賛支援内容 | |
|-------|----------------|-------|------------------------------|--------|-----|
| | | | | 財団 | 協議会 |
| 研究会支援 | 会誌「全公社研紀要」広告掲載 | 8/20 | 全国公民科・社会科教育研究会 | 協賛広告 | |
| | 平成25年度研究会活動費 | 12/25 | 東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会（都倫研） | 協賛金 | |
| | 「全総会報」広告掲載 | 2/20 | 全国総合学科高等学校長協会 | 協賛広告 | |

〔V〕組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動

所属団体における異動及び理事・監事が改選期に当たることから、6月13日に開催された第2回定時評議員会において、評議員の一部選任並びに理事・監事の選任が行われた。その結果、評議員においては、2名の退任評議員の後任として2名の新評議員が一部選任された。また、理事・監事については、新たに12名の理事と3名の監事が選任された。

これらの評議員会の決定を受けて同日開催された第5回理事会では、代表理事並びに業務執行理事等の選定が行われ、小枝 至氏に引き続き理事長を務めていただくこととなった。

なお、第2回定時評議員会終了後に、所属団体の異動に伴う退任（理事1名、監事1名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の理事及び監事の一部選任が行われた。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

3. 経理・財務状況

収入面では、関係団体からのご支援による賛助会費及び寄付金と、国債並びにそれに準じた債券運用による基本財産運用益等により、計画を若干上回る収入を確保することができた。

一方、支出面においては、事業規模は維持しつつも原価低減と効率的な支出に取り組んだ結果、ほぼ当初計画に沿った支出とすることができた。そのため、収支バランスは当初計画よりも僅かながら改善された結果となった。

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制

- ・平成 26 年 3 月 31 日現在の業務分担は以下のとおりである。

| 役 職 | 氏 名 | 担当業務 | 担当会議 |
|------|-------|------------------------------|---------------------------|
| 専務理事 | 花田 隆夫 | 事業統括、事務局統括 (調査研究事業) | 理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会 |
| 常務理事 | 上橋 義弘 | 調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム | 調査普及部会 (理事会・評議員会) |
| 参 事 | 笈沼 孝雄 | 研修事業 総務、労務 | 研修部会 (理事会・評議員会) |
| 部 長 | 馬場 和幸 | 技術教育支援事業 (経理) | 審査委員会、技術教育部会 |
| 職 員 | 下野 尚美 | (経理、総務、研修) | (研修部会) |
| 職 員 | 佐藤江里花 | (調査、普及啓発、システム) | (企画委員会、事業委員会) (調査普及部会) |
| 職 員 | 山内しのぶ | (技術教育、総務) | (審査委員会、技術教育部会) |

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・平成 25 年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

| < 賛助団体名 > | < 金 額 > |
|----------------------|-----------|
| ・(一社) 日本自動車工業会 | 35,000 千円 |
| ・(一社) 日本損害保険協会 | 2,400 千円 |
| ・(一社) 日本自動車販売協会連合会 | 4,800 千円 |
| ・(一社) 日本自動車連盟 | 1,200 千円 |
| ・(一社) 日本自動車会議所 | 600 千円 |
| ・(一社) 全国軽自動車協会連合会 | 1,200 千円 |
| ・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会 | 600 千円 |
| ・(一社) 日本自動車整備振興会連合会 | 600 千円 |
| 合 計 | 46,400 千円 |

| < 寄附団体名 > | < 金 額 > |
|-------------------|----------|
| ・(一社) 日本自動車機械工具協会 | 6,000 千円 |
| 合 計 | 6,000 千円 |

以 上

【資料1】平成25年度講師派遣実績

1. 技術研修会

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|------------------|-------|-----------------------|---------------|----------------------|------|
| 1 | 福岡 | 県立八女工業高等学校 | 5/27 | 日産・電気自動車について | 日産プリンス福岡販売(株) | 後藤憲一 | 85 |
| 2 | 広島 | 広島市立広島工業高等学校 | 5/29 | トヨタ・ハイブリッド車について | ネッツトヨタ中国(株) | 川原浩志 | 38 |
| 3 | 愛知 | 名古屋市立工業高等学校 | 7/3 | トヨタ・ハイブリッド車について | 名古屋トヨペット(株) | 寺尾隆之/山川倫史 | 40 |
| 4 | 宮城 | 県工業高等学校 | 7/18 | トヨタ・ハイブリッド車について | 宮城トヨタ自動車(株) | 富田慶一/煙山 優 | 79 |
| 5 | 愛知 | 県立豊田工業高等学校 | 7/29 | 電子制御エンジンの構造と点検・整備 | 愛知県自動車整備振興会 | 中田四郎/金指輝尚 | 10 |
| 6 | 沖縄 | 県工業教育研究会・自動車部会 | 8/2 | トヨタ・ハイブリッド車について | 沖縄トヨペット(株) | 照井 巖 | 30 |
| 7 | 福島 | 県高等学校教育研究会・工業部会 | 8/21 | ガソリンエンジンの分解・組立 | 福島県自動車整備振興会 | 梅津敬一/今福隆浩 /佐久間しほり | 18 |
| 8 | 宮城 | 県立村田高等学校 | 9/12 | トヨタ・ハイブリッド車について | 宮城トヨタ自動車(株) | 富田慶一 | 21 |
| 9 | 宮城 | 県立村田高等学校 | 10/22 | 日産・電気自動車について | (株)日産サテオ宮城 | 阿部正喜 | 20 |
| 10 | 広島 | 広島市立広島工業高等学校・定時制 | 10/29 | トヨタ・ハイブリッド車について | ネッツトヨタ中国(株) | 川原浩志 | 70 |
| 11 | 愛知 | 県立刈谷工業高等学校 | 11/8 | トヨタ・ハイブリッド車について | 名古屋トヨペット(株) | 寺尾隆之 | 39 |
| 12 | 鳥取 | 県立境港総合技術高等学校 | 11/11 | 三菱・プラグインハイブリッド車について | 三菱自動車工業(株) | 田中和幸 | 15 |
| 13 | 長崎 | 県立鹿町工業高等学校 | 11/21 | 日産・電気自動車について | 長崎日産自動車(株) | 田中浩光 | 40 |
| 14 | 広島 | 広島市立広島工業高等学校 | 11/29 | トヨタ・ハイブリッド車について | ネッツトヨタ中国(株) | 川原浩志 | 40 |
| 15 | 静岡 | 県立島田工業高等学校 | 12/9 | ホンダ・ハイブリッド車について | ホンダカーズ静岡西(株) | 三浦義則 | 41 |
| 16 | 東京 | 都自動車教育研究会 | 12/13 | ホンダ・ハイブリッド車について | (株)ホンダカーズ東京中央 | 上野浩一 | 48 |
| 17 | 島根 | 県立松江工業高等学校 | 12/24 | ガソリンエンジンの分解・組立 | 島根県自動車整備振興会 | 野津 禎 | 5 |
| 18 | 福島 | 県立小高工業高等学校 | 1/22 | ホンダ・ハイブリッド車について | (株)ホンダカーズ福島 | 和知善広/田下 潤 | 47 |
| 19 | 東京 | 都立六郷工科高等学校 | 1/30 | トヨタ・ハイブリッド車について | 東京トヨペット(株) | 菅谷和広 | 34 |
| 20 | 福岡 | 県立田川科学技術高等学校 | 2/4 | トヨタ・ハイブリッド車について | 福岡トヨタ自動車(株) | 久保清隆/松崎真一 | 23 |
| 21 | 宮城 | 県立加美農業高等学校 | 2/12 | ホンダ・ハイブリッド車について | 宮城ホンダ販売(株) | 稲垣 晃 | 29 |
| 22 | 東京 | 都立墨田工業高等学校 | 2/14 | トヨタ・ハイブリッド車について | 東京トヨタ自動車(株) | 佐藤昭雄/境野祐也 | 100 |
| 23 | 東京 | 都立墨田工業高等学校・定時制 | 2/25 | マツダ・SKYACTIV エンジンについて | マツダ(株) | 藤原 登/今井一之 | 16 |
| 24 | 岐阜 | 県立岐阜工業高等学校 | 3/7 | ガソリンエンジンの分解・組立 | 岐阜県自動車整備振興会 | 大野克己/林 敦史 | 5 |
| 25 | 宮城 | 県立古川工業高等学校・定時制 | 3/17 | トヨタ・ハイブリッド車について | 宮城トヨタ自動車(株) | 富田慶一 | 60 |
| | 技術系計 | — | — | — | — | — | 953 |

2. 一般研修会

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|-----------------|------|----------------------|---------------|-------|------|
| 1 | 山形 | 県立加茂水産高等学校 | 4/5 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山形支部 | 田中光雄 | 45 |
| 2 | 東京 | 修徳高等学校 | 4/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 新井友也 | 900 |
| 3 | 滋賀 | 県立湖南農業高校 | 4/9 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・近畿支部 | 山本武弘 | 160 |
| 4 | 東京 | 成城学園高等学校 | 4/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 中津川乗康 | 45 |
| 5 | 三重 | セントヨゼフ女子学園 | 4/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・三重支部 | 榎森良仁 | 500 |
| 6 | 埼玉 | 埼玉平成高等学校 | 4/10 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 善養寺雅人 | 280 |
| 7 | 埼玉 | 県立八潮南高等学校 | 4/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 佐藤秀行 | 650 |
| 8 | 北海道 | 道立大麻高等学校 | 4/11 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 宮澤明紀 | 950 |
| 9 | 東京 | 都立北豊島工業高等学校 | 4/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 中津川乗康 | 175 |
| 10 | 埼玉 | 春日部共栄高等学校 | 4/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 善養寺雅人 | 580 |
| 11 | 和歌山 | 県立神島高等学校 | 4/15 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・近畿支部 | 山本武弘 | 320 |
| 12 | 北海道 | 道立小清水高等学校 | 4/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・北見支部 | 佐々木純 | 65 |
| 13 | 大阪 | 大阪青凌高等学校 | 4/17 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・近畿支部 | 山本武弘 | 390 |
| 14 | 青森 | 県立青森商業高等学校 | 4/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・青森支部 | 中園浩二 | 760 |
| 15 | 群馬 | 県立藤岡中央高等学校 | 4/17 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・関東支部 | 森田啓資 | 430 |
| 16 | 滋賀 | 滋賀学園高等学校 | 4/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・滋賀支部 | 生田 真 | 251 |
| 17 | 岐阜 | 県立各務原高等学校 | 4/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岐阜支部 | 林 朝雄 | 900 |
| 18 | 青森 | 県立六戸高等学校 | 4/17 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・東北支部 | 山口兼由 | 238 |
| 19 | 静岡 | 聖隷クリストファー中・高等学校 | 4/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・静岡支部 | 山中博史 | 900 |
| 20 | 新潟 | 県立高田南城高等学校 | 4/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・新潟支部 | 梨本信栄 | 200 |
| 21 | 福岡 | 県立早良高等学校 | 4/19 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・九州支部 | 古西朱美 | 180 |
| 22 | 福島 | 県立光南高等学校 | 4/19 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・福島支部 | 堀川正和 | 730 |
| 23 | 愛知 | 県立南陽高等学校 | 4/22 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・中部支部 | 小峯雅也 | 240 |
| 24 | 東京 | 立教女学院高等学校 | 4/22 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・関東支部 | 河野和亘 | 150 |
| 25 | 愛知 | 県立長久手高等学校 | 4/22 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛知支部 | 寺本 浩 | 980 |
| 26 | 熊本 | 県立松橋支援学校 | 4/23 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・熊本支部 | 片篤勇三 | 50 |
| 27 | 福島 | 県立郡山北工業高等学校 | 4/24 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・東北支部 | 平島 正 | 290 |
| 28 | 岩手 | 県立花巻清風高等学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岩手支部 | 奈良 均 | 130 |
| 29 | 秋田 | 県立栗田養護学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 坪池充則 | 100 |
| 30 | 山口 | 県立下関工業高等学校 | 4/24 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・山口支部 | 森下金治 | 430 |

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|----------------|------|----------------------|----------------|-------|------|
| 31 | 大阪 | 大阪市立生野工業高等学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・大阪支部 | 由良明男 | 606 |
| 32 | 新潟 | 県立六日町高等学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・新潟支部 | 藤原 修 | 850 |
| 33 | 宮城 | 県立利府高等学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・宮城支部 | 渡辺定則 | 850 |
| 34 | 沖縄 | 県立本部高等学校 | 4/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・沖縄支部 | 平良克哉 | 240 |
| 35 | 北海道 | 道立土別翔雲高等学校 | 4/25 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・旭川支部 | 山岡市也 | 500 |
| 36 | 福島 | 県立須賀川養護学校 | 4/25 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・福島支部 | 堀川正和 | 40 |
| 37 | 北海道 | 道立下川商業高等学校 | 4/25 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・北海道支部 | 上木英正 | 103 |
| 38 | 熊本 | 県立球磨商業高等学校 | 4/25 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・熊本支部 | 渡邊敬太 | 400 |
| 39 | 秋田 | 県立大館工業高等学校 | 4/26 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 坪池充則 | 370 |
| 40 | 新潟 | 県立糸魚川高等学校 | 4/26 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・新潟支部 | 藤原 修 | 600 |
| 41 | 北海道 | 札幌北斗高等学校 | 4/26 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 山口博之 | 390 |
| 42 | 岩手 | 県立水沢高等学校 | 4/30 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・岩手支部 | 奈良 均 | 724 |
| 43 | 茨城 | 県立総和高等学校 | 4/30 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 420 |
| 44 | 山梨 | 県立吉田高等学校 | 4/30 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山梨支部 | 三枝成己 | 840 |
| 45 | 京都 | 府立洛水高等学校 | 4/30 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・近畿支部 | 山本武弘 | 220 |
| 46 | 沖縄 | 県立浦添工業高等学校 | 4/30 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・沖縄支部 | 平良克哉 | 796 |
| 47 | 佐賀 | 県立唐津西高等学校 | 4/30 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・佐賀支部 | 山口 徹 | 650 |
| 48 | 北海道 | 道立月形高等学校 | 4/30 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 宮沢明紀 | 151 |
| 49 | 新潟 | 県立正徳館高等学校 | 5/1 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・新潟支部 | 藤原 修 | 150 |
| 50 | 北海道 | 道立上川高等学校 | 5/1 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・北海道支部 | 上木英正 | 130 |
| 51 | 東京 | 都立第四商業高等学校 | 5/1 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 中津川乗安 | 600 |
| 52 | 東京 | 都立日本橋高等学校 | 5/1 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 片岡 大 | 660 |
| 53 | 東京 | 都立日本橋高等学校 | 5/1 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・関東支部 | 安藤正一 | 330 |
| 54 | 兵庫 | 県立長田商業高等学校・定時制 | 5/2 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・近畿支部 | 山本武弘 | 100 |
| 55 | 群馬 | 県立大間々高等学校 | 5/2 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・群馬支部 | 松岡嘉明 | 380 |
| 56 | 島根 | 県立江津清和養護学校 | 5/2 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・島根支部 | 安井俊久 | 5 |
| 57 | 北海道 | 道立旭川南高等学校 | 5/7 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・旭川支部 | 後藤博行 | 716 |
| 58 | 北海道 | 道立今金高等養護学校 | 5/8 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・函館支部 | 蛭沢慎悦 | 74 |
| 59 | 北海道 | 道立天売高等学校 | 5/8 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・北海道支部 | 上木英正 | 20 |
| 60 | 千葉 | 県立柏の葉高等学校 | 5/8 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・千葉支部 | 柳田 洋 | 930 |

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|----------------|------|----------------------|---------------|------|-------|
| 61 | 福島 | 県立会津第二高等学校 | 5/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・福島支部 | 堀川正和 | 50 |
| 62 | 宮城 | 県立仙台西高等学校 | 5/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・宮城支部 | 渡辺定則 | 840 |
| 63 | 愛知 | 県立安城南高等学校 | 5/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛知支部 | 寺本 浩 | 1,000 |
| 64 | 福井 | 県立美方高等学校 | 5/10 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・北陸支部 | 横田龍夫 | 161 |
| 65 | 青森 | 県立八戸第二養護学校 | 5/13 | 危険予知による交通安全」 | 日本自動車連盟・青森支部 | 中園浩二 | 140 |
| 66 | 群馬 | 関東学園附属高等学校 | 5/13 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・群馬支部 | 北見郁也 | 450 |
| 67 | 茨城 | 県立石岡第二高等学校 | 5/14 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 600 |
| 68 | 北海道 | 市立北海道札幌平岸高等学校 | 5/14 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 福西美貴 | 950 |
| 69 | 北海道 | 道立函館西高等学校 | 5/16 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・函館支部 | 蛭沢慎悦 | 480 |
| 70 | 愛知 | 県立小牧工業高等学校 | 5/16 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛知支部 | 寺本 浩 | 630 |
| 71 | 三重 | 県立相可高等学校 | 5/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・三重支部 | 榎森良仁 | 798 |
| 72 | 神奈川 | 県立瀬谷西高等学校 | 5/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 奥田恭司 | 660 |
| 73 | 岐阜 | 県立岐南工業高等学校 | 5/17 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・岐阜支部 | 林 朝雄 | 900 |
| 74 | 茨城 | 県立結城第二高等学校・昼間部 | 5/20 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 240 |
| 75 | 茨城 | 県立結城第二高等学校・夜間部 | 5/20 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 70 |
| 76 | 茨城 | 県立多賀高等学校 | 5/22 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 840 |
| 77 | 兵庫 | 県立西脇高等学校 | 5/24 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・兵庫支部 | 上田正利 | 960 |
| 78 | 岐阜 | 県立多治見北高等学校 | 5/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岐阜支部 | 林 朝雄 | 880 |
| 79 | 山形 | 天真学園高等学校 | 5/27 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山形支部 | 田中光雄 | 232 |
| 80 | 秋田 | 県立角館南高等学校 | 5/28 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 泉 寿和 | 300 |
| 81 | 香川 | 県立聾学校 | 5/28 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・香川支部 | 高橋一継 | 13 |
| 82 | 鹿児島 | 指宿市立指宿商業高等学校 | 5/28 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・鹿児島支部 | 白濱純洋 | 568 |
| 83 | 群馬 | 県立長野原高等学校 | 5/29 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・群馬支部 | 松岡嘉明 | 176 |
| 84 | 岩手 | 県立宮古工業高等学校 | 5/30 | 危険予知による交通安全」 | 日本自動車連盟・岩手支部 | 星 吉夫 | 260 |
| 85 | 福島 | 県立須賀川高等学校 | 5/30 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・福島支部 | 堀川正和 | 760 |
| 86 | 石川 | 県立金沢錦丘高等学校 | 6/6 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・北陸支部 | 横田龍夫 | 314 |
| 87 | 愛知 | 県立津島北高等学校 | 6/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛知支部 | 吉田英治 | 840 |
| 88 | 北海道 | 道立旭川凌雲高等学校 | 6/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・旭川支部 | 鶴間紀彦 | 600 |
| 89 | 福島 | 県立相馬東高等学校 | 6/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・福島支部 | 堀川正和 | 600 |
| 90 | 茨城 | 県立水戸南高等学校 | 6/12 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 65 |

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|----------------|------|----------------------|---------------|-----------|-------|
| 91 | 埼玉 | 正智深谷高等学校 | 6/12 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 永山栄司 | 1,100 |
| 92 | 岩手 | 県立前沢高等学校 | 6/12 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・東北支部 | 菅野福雄 | 230 |
| 93 | 長野 | 県立長野東高等学校 | 6/13 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・長野支部 | 中村敏也 | 240 |
| 94 | 群馬 | 県立聾学校 | 6/13 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・群馬支部 | 松岡嘉明 | 35 |
| 95 | 北海道 | 道立夕張高等学校 | 6/14 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 宮澤明紀 | 147 |
| 96 | 神奈川 | 県立小田原城北工業高等学校 | 6/14 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 奥田恭司 | 800 |
| 97 | 三重 | 県立津西高等学校 | 6/14 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・三重支部 | 榎森良仁 | 361 |
| 98 | 静岡 | 県立掛川東高等学校 | 6/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・静岡支部 | 山中博史 | 700 |
| 99 | 茨城 | 県立竹園高等学校 | 6/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 640 |
| 100 | 岩手 | 県立水沢農業高等学校 | 6/18 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・東北支部 | 菅野福雄 | 270 |
| 101 | 岡山 | 県立岡山工業高等学校 | 6/19 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岡山支部 | 原田育男 | 1,000 |
| 102 | 茨城 | 県立東海高等学校 | 6/19 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 502 |
| 103 | 秋田 | 県立大曲高等学校 | 6/19 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 坪池充則 | 700 |
| 104 | 岐阜 | 県立恵那農業高等学校 | 6/20 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岐阜支部 | 林 朝雄 | 480 |
| 105 | 宮崎 | 県立延岡青朋高等学校・定時制 | 6/20 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・九州支部 | 栗山智美 | 160 |
| 106 | 山口 | 県立豊浦高等学校 | 6/21 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山口支部 | 森下金治 | 550 |
| 107 | 秋田 | 県立横手城南高等学校 | 6/25 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 坪池充則 | 610 |
| 108 | 茨城 | 県立江戸崎総合高等学校 | 6/26 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 546 |
| 109 | 岐阜 | 県立武義高等学校 | 6/27 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岐阜支部 | 中村眞治 | 600 |
| 110 | 静岡 | 県立三島長陵高等学校 | 6/27 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・静岡支部 | 山中博史 | 600 |
| 111 | 沖縄 | 県立浦添高等学校 | 7/2 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・沖縄支部 | 新里 稔 | 1,200 |
| 112 | 茨城 | 県立友部東特別支援学校 | 7/3 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 26 |
| 113 | 鹿児島 | 県立額娃高等学校 | 7/3 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・鹿児島支部 | 白濱純洋 | 119 |
| 114 | 山梨 | 県立白根高等学校 | 7/4 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山梨支部 | 三枝成己/名取重文 | 510 |
| 115 | 宮城 | 県立東松島高等学校 | 7/5 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・宮城支部 | 佐藤達朗 | 208 |
| 116 | 神奈川 | 緑ヶ丘女子高等学校 | 7/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 奥田恭司 | 146 |
| 117 | 秋田 | 県立角館高等学校 | 7/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・秋田支部 | 坪池充則 | 570 |
| 118 | 三重 | 県立四日市西高等学校 | 7/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・三重支部 | 榎森良仁 | 320 |
| 119 | 東京 | 都立農産高等学校 | 7/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 新井友也 | 150 |
| 120 | 愛媛 | 県立三島高等学校 | 7/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛媛支部 | 森長将行 | 800 |

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|--------------|-------|----------------------|---------------|-----------|------|
| 121 | 長野 | 県立北佐久農業高等学校 | 7/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・長野支部 | 中村敏也 | 340 |
| 122 | 鳥取 | 県立皆生養護学校 | 7/12 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・鳥取支部 | 前田信明 | 20 |
| 123 | 滋賀 | 滋賀学園高等学校 | 7/16 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・滋賀支部 | 生田 真 | 200 |
| 124 | 長崎 | 県立五島南高等学校 | 7/16 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・長崎支部 | 北野繁治 | 140 |
| 125 | 千葉 | 県立国分高等学校 | 7/16 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・千葉支部 | 鍛本敏彦 | 960 |
| 126 | 埼玉 | 市立川越高等学校 | 7/16 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 善養寺雅人 | 850 |
| 127 | 滋賀 | 県立彦根翔陽高等学校 | 7/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・滋賀支部 | 生田 真 | 630 |
| 128 | 北海道 | 道立恵庭南高等学校 | 7/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 福西美貴 | 900 |
| 129 | 千葉 | 船橋学園東葉高等学校 | 7/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・千葉橋部 | 鍛本敏彦 | 620 |
| 130 | 東京 | 都立小平高等学校 | 7/18 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 新井友也 | 320 |
| 131 | 静岡 | 富士市立高等学校 | 7/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・静岡支部 | 山中博史 | 700 |
| 132 | 神奈川 | 県立橋本高等学校 | 7/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 奥田恭司 | 276 |
| 133 | 三重 | 県立亀山高等学校 | 7/19 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・三重支部 | 榎森良仁 | 714 |
| 134 | 山梨 | 県立富士河口湖高等学校 | 7/22 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山梨支部 | 三枝成己 | 830 |
| 135 | 東京 | 聖学院中学校高等学校 | 9/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 新井友也 | 75 |
| 136 | 山梨 | 富士学苑中学・高等学校 | 9/9 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山梨支部 | 三枝成己/名取重文 | 550 |
| 137 | 茨城 | 県立鉾田農業高等学校 | 9/13 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・茨城支部 | 岡田義勝 | 80 |
| 138 | 高知 | 県立中村高等学校 | 9/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・高知支部 | 権名津 博 | 870 |
| 139 | 岩手 | 県立一関第二高等学校 | 9/19 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岩手支部 | 星 吉夫 | 720 |
| 140 | 北海道 | 道立洞爺高等学校 | 9/20 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・室蘭支部 | 大岩憲志郎 | 48 |
| 141 | 埼玉 | 県立桶川高等学校 | 9/26 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 永山栄司 | 970 |
| 142 | 北海道 | 道立熊石高等学校 | 9/27 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・函館支部 | 蛭沢慎悦 | 24 |
| 143 | 山梨 | 県立農林高等学校 | 10/2 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・山梨支部 | 名取重文 | 470 |
| 144 | 岡山 | 玉野市立玉野商業高等学校 | 10/8 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・岡山支部 | 宮本敏彦 | 460 |
| 145 | 新潟 | 市立高志中等教育学校 | 10/9 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・新潟支部 | 梨本信栄 | 600 |
| 146 | 山口 | 県立厚狭高等学校 | 10/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・山口支部 | 森下金治 | 410 |
| 147 | 宮崎 | 県立延岡星雲高等学校 | 10/11 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・宮崎支部 | 竹内真一 | 600 |
| 148 | 島根 | 松江西高等学校 | 10/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・島根支部 | 安井俊久/杉谷安文 | 440 |
| 149 | 埼玉 | 県立妻沼高等学校 | 10/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 永山栄司 | 430 |
| 150 | 埼玉 | 県立いづみ高等学校1年生 | 10/18 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 永山栄司 | 240 |

| No. | 都道府県 | 主催 | 月日 | 講演テーマ | 講師(敬称略) | | 参加人数 |
|-----|------|------------------|-------|----------------------|---------------|-------|--------|
| 151 | 埼玉 | 県立いずみ高等学校 3 年生 | 10/21 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・関東支部 | 竹島亜機雄 | 200 |
| 152 | 埼玉 | 県立特別支援学校羽生ふじ高等学園 | 10/24 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・埼玉支部 | 善養寺雅人 | 120 |
| 153 | 福岡 | 公立古賀竟成館高等学校 | 10/24 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・福岡支部 | 永松純一 | 650 |
| 154 | 栃木 | 県立小山西高等学校 | 11/5 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・栃木支部 | 田村鋭夫 | 600 |
| 155 | 鹿児島 | 出水市立出水商業高等学校 | 11/8 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・九州支部 | 栗山智美 | 374 |
| 156 | 北海道 | 道立栗山高等学校 | 11/20 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・札幌支部 | 八十島智春 | 107 |
| 157 | 宮城 | 県立第二工業高等学校 | 11/22 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・宮城支部 | 北野繁治 | 80 |
| 158 | 神奈川 | 横浜市立ろう特別支援学校 | 11/26 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 鍛本敏彦 | 29 |
| 159 | 広島 | 広島大学附属高等学校 | 11/27 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・中国支部 | 井元 健 | 190 |
| 160 | 長崎 | 県立豊玉高等学校 | 12/3 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・九州支部 | 栗山智美 | 60 |
| 161 | 愛媛 | 県立土居高等学校 | 12/10 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・愛媛支部 | 森長将行 | 340 |
| 162 | 鹿児島 | 県立吹上高等学校 | 12/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・鹿児島支部 | 白濱純洋 | 350 |
| 163 | 和歌山 | 県立和歌山工業高等学校 | 12/11 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・和歌山支部 | 小山 真 | 381 |
| 164 | 千葉 | 県立船橋北高等学校 | 12/17 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・千葉支部 | 柳田 洋 | 700 |
| 165 | 沖縄 | 県立八重山商工高等学校 | 12/25 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・沖縄支部 | 平良克哉 | 450 |
| 166 | 大分 | 県立芸術緑丘高等学校 | 1/14 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・大分支部 | 田代芳久 | 235 |
| 167 | 栃木 | 県立足利特別支援学校 | 1/15 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・栃木支部 | 田村鋭夫 | 10 |
| 168 | 栃木 | 県立足利中央特別支援学校 | 1/15 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・栃木支部 | 田村鋭夫 | 115 |
| 169 | 栃木 | 県立今市工業高等学校 | 1/25 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・栃木支部 | 田村鋭夫 | 500 |
| 170 | 三重 | 県立伊賀白鳳高等学校 | 1/30 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・中部支部 | 村上 昇 | 270 |
| 171 | 徳島 | 県立新野高等学校 | 1/31 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・四国支部 | 堀本達也 | 70 |
| 172 | 茨城 | 県立笠間高等学校 | 1/31 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・関東支部 | 竹島亜機雄 | 148 |
| 173 | 北海道 | 道立福島商業高等学校 | 2/5 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・函館支部 | 蛭沢慎悦 | 14 |
| 174 | 長野 | 県立阿智高等学校 | 2/13 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・長野支部 | 金子公一 | 96 |
| 175 | 東京 | 都立桜修館中等教育学校 | 2/26 | 危険予知による交通安全 | 日本自動車連盟・東京支部 | 中津川乗康 | 158 |
| 176 | 徳島 | 県立新野高等学校 | 3/13 | 自転車と交通安全について | 日本損害保険協会・四国支部 | 堀本達也 | 160 |
| 177 | 神奈川 | 県立横浜南陵高等学校 | 3/13 | クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全 | 日本自動車連盟・神奈川支部 | 奥田恭司 | 530 |
| 178 | 東京 | 都立桜修館中等教育学校 | 3/19 | 交通事故とその責任 | 日本損害保険協会・関東支部 | 安藤正一 | 120 |
| | 一般系計 | — | — | — | — | — | 76,105 |
| | 技術系計 | — | — | — | — | — | 953 |
| | 総合計 | — | — | — | — | — | 77,058 |

【資料2】平成25年度教材贈呈式開催状況

(敬称略)

1) 群馬県

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 日時/場所 | 平成25年11月6日 13:30~15:00/群馬自販会館(前橋市野中町564) | | |
| 出席者 | 来賓 | 群馬県教育委員会 全国工業高等学校長協会群馬県代表校 (群馬県立高崎工業高等学校) | 指導主事 校長 関口 真 田村 満 |
| | 学校関係者 | 群馬県立前橋工業高等学校 " 群馬県立桐生工業高等学校 " 群馬県立藤岡工業高等学校 群馬県立富岡実業高等学校 " | 副校長 機械科教諭 事務長 機械科長 機械科主任 校長 電子機械科教諭 星野 豊 大久保哲也 須永由紀夫 内藤 忠 河井 崇平 石井 教昭 津金澤阿都佐 |
| | 協議会関係者 | 群馬県自動車販売店協会 群馬県自動車整備振興会 群馬県軽自動車協会 日本自動車連盟 群馬支部 群馬県自動車販売店協会 日本自動車教育振興財団 日本自動車教育振興財団 | 会長 [県協議会・会長] 専務理事 専務理事 事務所長 専務理事 [県協議会・事務局] 参事 部長 大崎 巖 太田 栄 生方 茂 齋藤 裕一 三木 建男 笈沼 孝雄 馬場 和幸 |
| | マスコミ | 日刊自動車新聞社・上毛新聞社 | |

2) 秋田県

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 日時/場所 | 平成25年11月8日 13:30~15:00/秋田県自動車会議所(秋田市八幡大畑2-12-55) | | |
| 出席者 | 来賓 | 秋田県教育庁高校教育課 | 指導主事 大山 厚 |
| | 学校関係者 | 秋田県立秋田工業高等学校 秋田県立大館工業高等学校 秋田県立能代工業高等学校 秋田県立由利工業高等学校 " 秋田県立大曲工業高等学校 秋田県立横手清陵学院高等学校 秋田県立湯沢翔北高等学校 | 教頭 機械科 機械科 教頭 機械科 機械科 システム工学類 工業技術科 佐々木 健 永井 浩仁 高橋 保彦 有坂 俊吉 鈴木 孝 佐々木和美 本間 秀史 加藤 祐一 |
| | 協議会関係者 | 秋田県自動車販売店協会 秋田県自動車整備振興会 日本自動車連盟秋田支部 日本損害保険協会東北支部 秋田県自動車販売店協会 日本自動車教育振興財団 | 会長 [県協議会・会長] 専務理事 支部長 事務局長 専務理事 [県協議会・事務局] 常務理事 三浦 廣巳 戸澤 良一 伊藤 哲之 五十嵐 朗 小松 龍夫 上橋 義弘 |
| | マスコミ | 秋田魁新報社 | |

3) 長野県

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 日時/場所 | 平成25年11月8日 13:30~15:00 /ホテルメトロポリタン長野(長野市南石堂1346番地) | | |
| 出席者 | 学校関係者 | 長野県中野立志館高等学校 長野県長野工業高等学校 " 長野県岩村田高等学校 長野県岡谷工業高等学校 長野県駒ヶ根工業高等学校 長野県池田工業高等学校 | 機械科教諭 校長 機械科 機械科 機械科 機械科 機械科主任 田中 茂樹 浅澤潤一郎 川島 國裕 関間 俊文 清水 哲 林 厚志 石田 隆雄 |
| | 協議会関係者 | 長野県自動車販売店協会 長野県自動車整備振興会 日本自動車連盟長野支部 長野県軽自動車協会 長野県自動車販売店協会 日本自動車教育振興財団 " | 理事長 [県協議会・会長] 事業部長 主事 常務理事 事務局長 参事 部長 宇都宮 保 町井 峰雪 山本 節夫 池田 俊栄 清水 金吾 笈沼 孝雄 馬場 和幸 |
| | マスコミ | 出席無し | |

4) 熊本県

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 日時/場所 | 平成 25 年 11 月 11 日 13:30～15:00 /熊本ホテルキャッスル (熊本市中央区城東町 4-2) | | |
| 出席者 | 来賓 | 熊本県教育庁教育指導局高校教育課 " " 全国工業高等学校長協会熊本県代表校 (熊本県立熊本工業高等学校) | 審議員兼課長補佐 指導主事 校長 郷 慶次 西村 和久 飯川 幸真 |
| | 学校関係者 | 熊本県立小川工業高等学校 " " 熊本県立水俣高等学校 " " 熊本県立天草工業高等学校 " " 熊本県立翔陽高等学校 " " | 校長 教諭 校長 機械科教諭 校長 教諭 校長 カニクス系列主任 菅田 雅之 林田 学 浅見 雄治 井芹 禎宏 徳永 次郎 城本 幸憲 山田 史郎 西牟田 彰 |
| | 協議会関係者 | 熊本県自動車販売店協会 熊本県自動車整備振興会 熊本県軽自動車協会 日本自動車連盟熊本支部 熊本県自動車販売店協会 " " 日本自動車教育振興財団 | 会長 [県協議会・会長] 専務理事 専務理事 事務所長 専務理事 [県協議会・事務局長] 総務部長 専務理事 奥縄 義昭 前崎 勝浩 清田 祐司 駒木 俊彦 山根 法生 小西 孝吉 花田 隆夫 |
| | マスコミ | 出席無し | |

5) 福岡県

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 日時/場所 | 平成 25 年 11 月 12 日 13:30～15:00 /ハイアット・リージェンシー・福岡 (福岡市博多区博多駅東 2-14-1) | | |
| 出席者 | 来賓 | 福岡県教育庁教育振興部高校教育課 " " 福岡市教育委員会指導部 " " | 主任指導主事 指導主事 学校指導課長 主任指導主事 平塚 健士 原口 聖司 池田 一司 平尾 博文 |
| | 学校関係者 | 福岡県立荏田工業高等学校 " " 福岡県立小倉工業高等学校 " " 福岡県立戸畑工業高等学校 " " 福岡県立福岡工業高等学校 (定) " " 福岡県立八女工業高等学校 福岡県立田川科学技術高等学校 福岡市立博多工業高等学校 " " 学校法人豊国学園 豊国学園高等学校 " " 学校法人嶋田学園 飯塚高等学校 学校法人久留米工業大学 祐誠高等学校 " " | 校長 教諭 校長 教諭 校長 教諭 校長 講師 教諭 副校長 校長 教諭 校長 教諭 校長 教諭 校長 教諭 角田 武弘 久保田一徳 田島 利彦 |
| | 協議会関係者 | 福岡県自動車販売協会協会 福岡県自動車整備振興会 福岡県軽自動車協会 日本自動車連盟福岡支部 福岡県自動車販売協会協会 " " 日本自動車教育振興財団 " " | 会長 [県協議会・会長] 専務理事 専務理事 事務所長 専務理事 [県協議会・事務局長] 業務部長 専務理事 部長 有田 耕一 喜田 順治 阿部 元治 川述 利文 古賀 敏行 斉藤 節男 花田 隆夫 馬場 和幸 |
| | マスコミ | 出席無し | |

6)新潟県

| | | | | |
|---------|---|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 15 日 10:00～10:30/新潟県立塩沢商工高等学校（南魚沼市泉盛寺 701-1） | | | |
| 出 席 者 | 学 校 関係者 | 新潟県立塩沢商工高等学校 " " " " " " | 校 長 教 頭 教 諭 実 習 教 諭 | 坂下 忠士 大國 隆彦 風間 英一 星 芳麿 |
| | 協議会 関係者 | 新潟県自動車販売協会 日本自動車教育振興財団 | 部 長 部 長 | 小林 茂 馬場 和幸 |
| | マスコミ | 出席無し | | |

7)山形県

| | | | | | | |
|---------|---|--|--|---|--|--|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 19 日 13:30～15:00/山形グランドホテル（山形市本町 1-7-42） | | | | | |
| 出 席 者 | 来 賓 | 山形県教育庁高校教育課 | 課 長 補 佐 | 佐藤 睦浩 | | |
| | 学 校 関係者 | 山形県立米沢工業高等学校 " " 山形県長井工業高等学校 " " 山形明正高等学校 " " | 校 長 教 諭 教 頭 教 諭 校 長 教 諭 | 齋藤 裕司 安日 寛昭 齋藤 昌広 丸山 和彦 佐藤 佳彦 三澤 明 | | |
| | | 協議会 関係者 | 山形県自動車販売店協会 山形県自動車整備振興会 日本自動車連盟山形支部 山形県自動車販売店協会 " " 日本自動車教育振興財団 | 会 長 会 長 事 務 所 長 常 務 理 事 係 長 部 長 | [県協議会・会長] 鈴木 吉徳 鈴木 重行 後藤多美子 [県協議会・事務局長] 秋葉 勝義 瀬野智亜希 馬場 和幸 | |
| | | | マスコミ | 日刊自動車新聞社・山形新聞社・さくらんぼテレビジョン・山形テレビ・山形放送・ テレビユー山形 | | |

8)香川県

| | | | | | | |
|---------|---|--|---|--|---|--|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 21 日 13:30～15:00/リーガホテルゼスト高松（高松市古新町 9-1） | | | | | |
| 出 席 者 | 来 賓 | 香川県教育委員会事務局高校教育課 | 主任指導主事 | 喜多 泰三 | | |
| | 学 校 関係者 | 香川県立高松工芸高等学校 香川県立坂出工業高等学校 " " 香川県立多度津高等学校 " " 香川県立三豊工業高等学校 " " | 教 員 校 長 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 | | 福井 一仁 六車 治 川口 喜史 森 昭夫 前川 正博 高橋 輝章 石川 英俊 | |
| | | 協議会 関係者 | 香川県自動車販売店協会 香川県自動車整備振興会 香川県軽自動車協会 日本自動車連盟香川支部 日本損害保険協会 四国支部 香川県自動車販売協会 " " 日本自動車教育振興財団 | 会 長 専 務 理 事 専 務 理 事 事 務 所 長 事 務 局 長 専 務 理 事 事 務 局 次 長 部 長 | [県協議会・会長] 久保 智彦 鍋島 省三 戸田 充彦 亀井 孝佳 鶴巻 健弥 [県協議会・事務局長] 森 幹男 岡田 佳子 馬場 和幸 | |
| | | | マスコミ | 四国新聞社・日刊自動車新聞社 | | |

9) 長崎県

| | | | |
|--------------|---|---------------------|---------------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 25 日 13:25~14:30/ホテルセントヒル長崎(長崎市筑後町 4-10) | | |
| 出席者 | 来 賓 | 長崎県教育庁高校教育課 | 指 導 主 事 永原 一也 |
| | 学 校 関 係 者 | 長崎県立長崎工業高等学校 | 校 長 田原 章吾 |
| | | 〃 | 機 械 科 岡本 航平 |
| | | 長崎県立大村工業高等学校 | 教 頭 金子 哲次 |
| 〃 | | 機 械 科 西尾 敏弘 | |
| 協議会 関 係 者 | 長崎県立鹿町工業高等学校 | 機 械 科 内野 政美 | |
| | 佐世保実業高等学校 | 自動車工学科 山本 明範 | |
| | 長崎県自動車販売店協会 | 会 長 [県協議会・会長] | 円田 昭 |
| | 長崎県自動車整備振興会 | 専 務 理 事 市川 房夫 | |
| | 長崎県軽自動車協会 | 専 務 理 事 橋口 一久 | |
| 協議会 関 係 者 | 日本自動車連盟長崎支部 | 推 進 課 長 清田 真次 | |
| | 長崎県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 [県協議会・事務局長] | 古田 和幸 |
| | 〃 | 総 務 課 長 真田 隆 | |
| | 日本自動車教育振興財団 | 常 務 理 事 上橋 義弘 | |
| マスコミ | 出席無し | | |

10) 徳島県

| | | | |
|--------------|---|---------------------|-----------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 25 日 13:30~15:00/J A F 徳島支部 (徳島市新南福島 1-4-32) | | |
| 出席者 | 来 賓 | 徳島県教育委員会 学校政策課 | 班 長 古味 俊二 |
| | 学 校 関 係 者 | 徳島県立阿南工業高等学校 | 教 諭 岩川 英司 |
| | | 徳島県立新野高等学校 | 教 頭 岩見 孝宏 |
| | | 〃 | 教 諭 土肥 誠一 |
| 徳島県立貞光工業高等学校 | | 教 頭 西 裕治 | |
| 協議会 関 係 者 | 〃 | 工 業 部 長 瀬部 浩司 | |
| | 徳島県自動車販売店協会 | 会 長 [県協議会・会長] | 玉置 潔 |
| | 徳島県自動車整備振興会 | 会 長 藤村 実 | |
| | 日本自動車連盟徳島支部 | 事 務 所 長 松林 健悟 | |
| | 日本損害保険協会 四国支部 | 事 務 局 長 鶴巻 健弥 | |
| 協議会 関 係 者 | 徳島県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 [県協議会・事務局長] | 武田 耕二 |
| | 日本自動車教育振興財団 | 部 長 | 馬場 和幸 |
| | マスコミ | 出席無し | |

11) 高知県

| | | | | |
|--------------|---|---------------------|-----------------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 26 日 13:30~14:50/高知パシフィックホテル (高知市駅前町 1-15) | | | |
| 出席者 | 来 賓 | 高知県教育委員会 事務局 高等学校課 | 課 長 補 佐 竹村 謙 | |
| | 学 校 関 係 者 | 〃 | 指 導 主 事 | 前田 康彦 |
| | | 高知県立室戸高等学校 | 工業科教諭 | 篠田 佳昭 |
| | | 高知県立高知東工業高等学校 | 教 頭 小松 茂久 | |
| | | 〃 | 機 械 科 教 諭 岡田 和己 | |
| | | 高知県立高知工業高等学校 | 校 長 横畑 健 | |
| | | 〃 | 教 諭 福原 大海 | |
| | | 高知県立須崎工業高等学校 | 校 長 佐々木 菊雄 | |
| | | 〃 | 機 械 科 教 諭 戸田 博万 | |
| | | 高知県立宿毛工業高等学校 | 校 長 橋本 浩 | |
| 〃 | | 自動車専攻長 池内 忠 | | |
| 協議会 関 係 者 | 高知県自動車販売店協会 | 会 長 [県協議会・会長] | 西山 忠利 | |
| | 高知県自動車整備振興会 | 会 長 下村 宰 | | |
| | 高知県軽自動車協会 | 専 務 理 事 加田 勝昭 | | |
| | 日本自動車連盟高知支部 | 事 務 所 長 岡林 宏行 | | |
| | 日本損害保険協会 四国支部 | 事 務 局 長 鶴巻 健弥 | | |
| | 高知県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 [県協議会・事務局長] | 秋山 教二郎 | |
| 日本自動車教育振興財団 | 参 事 | 笈沼 孝雄 | | |
| マスコミ | 出席無し | | | |

12) 鹿児島県

| | | | | |
|---------------|--|---------------|-------------|--------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 28 日 14:00～15:30/ホテル・レクストン鹿児島 (鹿児島市山之口町 4-20) | | | |
| 出席者 | 来賓 | 鹿児島県教育庁高校教育課 | 指 導 主 事 | 大保 智 |
| | 学 校 関 係 者 | 鹿児島県立薩南工業高等学校 | 機 械 科 | 永井 和久 |
| | | 鹿児島県立隼人工業高等学校 | 学 校 長 | 祁答院宮子 |
| | | 〃 | 電子機械科 | 海老原 志朗 |
| 鹿児島県立鹿屋工業高等学校 | | 機 械 科 | 福田 祥司 | |
| 鹿児島県立奄美高等学校 | | 機械電気科 | 吉元 貢士 | |
| 鹿児島県立曾於高等学校 | 教 頭 | 森川 敏美 | | |
| 鹿児島情報高等学校 | 副 校 長 | 新留 武一 | | |
| 〃 | 自動車工学科 | 蒲地 美照 | | |
| 協議会 関 係 者 | 鹿児島県自動車販売店協会 | 副 会 長 | [県協議会・副会長] | 小原 正二 |
| | 日本自動車連盟鹿児島支部 | 交通環境担当 | | 白濱 純洋 |
| | 鹿児島県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 平原 清雪 |
| | 〃 | | | 塩満 直子 |
| | 日本自動車教育振興財団 | 常 務 理 事 | | 上橋 義弘 |
| マスコミ | 南日本放送・南日本新聞・エフエム鹿児島 | | | |

13) 佐賀県

| | | | | |
|--------------|--|-------------------|-------------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 11 月 29 日 15:00～16:30/ホテルグランデはがくれ (佐賀市天神 2-1-36) | | | |
| 出席者 | 来賓 | 佐賀県教育庁学校教育課産業教育担当 | 係 長 | 副島 政史 |
| | 学 校 関 係 者 | 佐賀県立佐賀工業高等学校 | 教 頭 | 下野 恒男 |
| | | 〃 | 機 械 科 | 本村 一政 |
| | | 佐賀県立唐津工業高等学校 | 校 長 | 重春 充 |
| 〃 | | 機 械 科 | 野崎 良二 | |
| 北陵高等学校 | | 校 長 | 大坪 健造 | |
| 〃 | 自動車科長 | 吉田 宏章 | | |
| 敬徳高等学校 | 自動車整備科長 | 田中 章彦 | | |
| 協議会 関 係 者 | 佐賀県自動車販売店協会 | 会 長 | [県協議会・会長] | 前田 博憲 |
| | 佐賀県軽自動車協会 | 会 長 | | 円田 稔 |
| | 日本自動車連盟 佐賀支部 | 事 務 所 長 | | 谷 順治 |
| | 〃 | 隊 長 | | 上野平 厚 |
| | 佐賀県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 本村 修紹 |
| 日本自動車教育振興財団 | 部 長 | | 馬場 和幸 | |
| マスコミ | 日刊自動車新聞、佐賀新聞社 | | | |

14) 山梨県

| | | | | |
|--------------|--|--------------|-------------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 12 月 3 日 13:30～14:45/山梨県自動車販売店会館 (笛吹市石和町唐柏 1000-7) | | | |
| 出席者 | 学 校 関 係 者 | 山梨県立韮崎工業高等学校 | 教 諭 | 北川 善巳 |
| | | 〃 | 教 諭 | 金田 仁 |
| | | 山梨県立富士北陵高等学校 | 教 諭 | 五味 光仁 |
| | 〃 | 教 諭 | 森嶋 真一 | |
| 協議会 関 係 者 | 山梨県自動車販売店協会 | 会 長 | [県協議会・会長] | 田中 好輔 |
| | 山梨県自動車整備振興会 | 専 務 理 事 | | 斉木 重夫 |
| | 日本自動車連盟山梨支部 | 事 務 所 長 | | 関根 修 |
| | 山梨県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 興石 光彦 |
| | 〃 | 総務部次長 | | 遠藤 聡 |
| 日本自動車教育振興財団 | 部 長 | | 馬場 和幸 | |
| マスコミ | 日刊自動車新聞 | | | |

15) 宮崎県

| | | | | |
|--------------|--|---------------|-------------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 12 月 4 日 13:30~15:00/宮崎観光ホテル (宮崎市松山 1-1-1) | | | |
| 出席者 | 来 賓 | 宮崎県教育委員会学校政策課 | 指 導 主 事 | 中別府勇治 |
| | 学 校 関 係 者 | 宮崎県立延岡工業高等学校 | 校 長 | 竹下弘一郎 |
| | | 〃 | 教 諭 | 岩崎 栄一 |
| | | 宮崎県立日向工業高等学校 | 校 長 | 川野 寛美 |
| 〃 | | 教 諭 | 上田 雅史 | |
| 宮崎県立日南振徳高等学校 | | 教 諭 | 矢野 元士 | |
| 協議会 関 係 者 | 宮崎県立佐土原高等学校 | 校 長 | 中原 正樹 | |
| | 〃 | 教 諭 | 米良 久邦 | |
| | 宮崎県自動車販売店協会 | 会 長 | [県協議会・会長] | 佐土嶋恒夫 |
| | 宮崎県自動車整備振興会 | 専 務 理 事 | | 井上喜四三 |
| | 宮崎県軽自動車協会 | 専 務 理 事 | | 小守 勝秀 |
| 協議会 関 係 者 | 日本自動車連盟宮崎支部 | 専 務 理 事 長 | | 古瀬 賢司 |
| | 宮崎県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 栢山 英雄 |
| | 〃 | 専 務 理 事 | | 中武 光博 |
| | 日本自動車教育振興財団 | 専 務 理 事 | | 花田 隆夫 |
| | マスコミ | 出席無し | | |

16) 沖縄県

| | | | | | |
|---------|--|---------------|---------|-------------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 12 月 5 日 14:00~15:00/沖縄県立美来工科高等学校 (沖縄市越來 3-17-1) | | | | |
| 出席者 | 学 校 関 係 者 | 沖縄県立美来工科高等学校 | 校 長 | 田中 康成 | |
| | | 沖縄県立那覇工業高等学校 | 校 長 | 真栄田義功 | |
| | | 沖縄県立南部工業高等学校 | 校 長 | 嘉手苺良治 | |
| | | 沖縄県立宮古工業高等学校 | 校 長 | 宮里 幸利 | |
| | | 沖縄県立八重山商工高等学校 | 校 長 | 友利 成寿 | |
| | | 沖縄県立嘉手納高等学校 | 校 長 | 喜屋武尚子 | |
| | | 沖縄県立美里工業高等学校 | 校 長 | 渡久山 修 | |
| | | 沖縄県立名護商工高等学校 | 校 長 | 小録 健夫 | |
| | | 沖縄県立浦添工業高等学校 | 校 長 | 与那覇 強 | |
| | | 沖縄県立美来工科高等学校 | 教 諭 | 石嶺 真睦 | |
| | 協議会 関 係 者 | 沖縄県自動車販売店協会 | 会 長 | [県協議会・会長] | 堀川 共進 |
| | | 沖縄県自動車販売店協会 | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 平良 幸生 |
| | | 日本自動車教育振興財団 | 部 長 | | 馬場 和幸 |
| マスコミ | 出席無し | | | | |

17) 大分県

| | | | | | |
|--------------|--|--------------|-------------|-----------|-------|
| 日 時/場 所 | 平成 25 年 12 月 12 日 13:30~15:00/大分オアシスタワーホテル (大分市高砂町 2-48) | | | | |
| 出席者 | 来 賓 | 大分県教育庁高校教育課 | 参 事 | 林 加代子 | |
| | 学 校 関 係 者 | 〃 | 〃 | 指 導 主 事 | 下堀 法彦 |
| | | 大分県立国東高等学校 | 教 頭 | | 藤本 幸二 |
| | | 〃 | 教 諭 | | 水ノ江進行 |
| | | 大分県立大分工業高等学校 | 教 頭 | | 高倉 信二 |
| | | 〃 | 教 諭 | | 木村 高広 |
| | | 大分県立鶴崎工業高等学校 | 校 長 | | 渚 洋行 |
| | | 〃 | 教 諭 | | 橋本 武晴 |
| | | 大分県立津久見高等学校 | 教 頭 | | 新貝 政典 |
| | | 〃 | 教 諭 | | 笠村 隆 |
| | | 大分県立中津東高等学校 | 校 長 | | 高橋 正直 |
| | 〃 | 教 諭 | | 森 秀芳 | |
| | 大分高等学校 | 教 頭 | | 久保 恭友 | |
| | 〃 | 教 諭 | | 田吹 芳治 | |
| | 協議会 関 係 者 | 大分県自動車販売店協会 | 会 長 | [県協議会・会長] | 渡邊 教和 |
| | | 大分県自動車整備振興会 | 専 務 理 事 | | 中山 充孝 |
| | | 大分県軽自動車協会 | 専 務 理 事 | | 岡田 敏彰 |
| 日本自動車連盟 大分支部 | | 推 進 課 長 | | 小田原 悟 | |
| 大分県自動車販売店協会 | | 専 務 理 事 | [県協議会・事務局長] | 三浦 紘美 | |
| 協議会 関 係 者 | 〃 | 主 任 | | 伊藤 亜理 | |
| | 日本自動車教育振興財団 | 部 長 | | 馬場 和幸 | |
| マスコミ | 日刊自動車新聞 | | | | |

18) 愛媛県

| | | | | |
|-------------|----------------|--|---|---|
| 日 時/場 所 | | 平成 25 年 12 月 13 日 13:30~15:10/愛媛県自動車会館 (松山市森松町 1075-2) | | |
| 出 席 者 | 学 校 関 係 者 | 愛媛県立新居浜工業高等学校 " " 愛媛県立今治工業高等学校 愛媛県立松山工業高等学校 愛媛県立吉田高等学校 " " | 校 長 機 械 科 教 諭 機 械 科 教 諭 機 械 科 長 教 頭 機 械 建 築 工 学 科 長 | 内藤 善文 藤田 誠人 柳原 裕次 藤原 昭宏 西岡 誠 千崎 岩宏 |
| | 協 議 会 関 係 者 | 愛媛県自動車販売店協会 愛媛県自動車整備振興会 愛媛県軽自動車協会 日本自動車連盟 愛媛支部 日本損害保険協会 四国支部 愛媛県自動車販売店協会 日本自動車教育振興財団 | 会 長 [県協議会・会長] 専 務 理 事 会 長 推 進 課 長 事 務 局 長 専 務 理 事 [県協議会・事務局長] 参 事 | 五味 久枝 田中 文明 一色 義治 森長 将行 鶴巻 健弥 高田 昌資 笈沼 孝雄 |
| | マスコミ | テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、あいテレビ、南海放送、FM愛媛 | | |